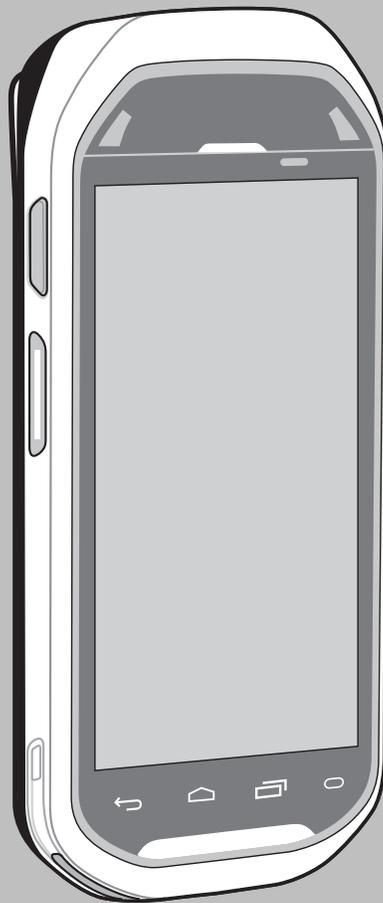
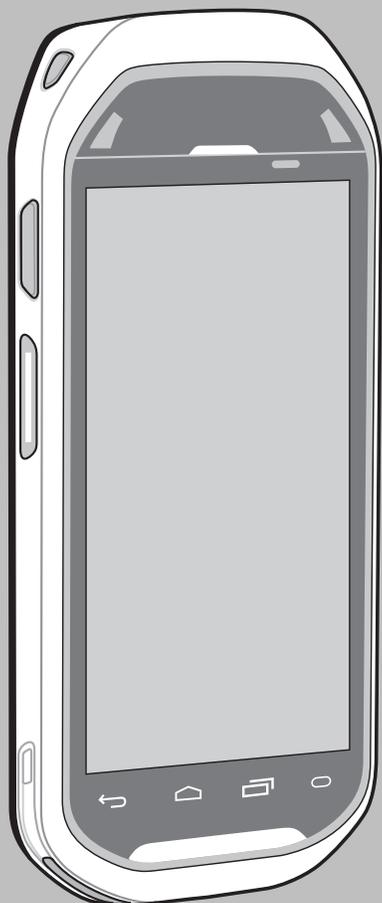


MC40

ユーザーガイド



著作権

本マニュアルに記載されている製品には、著作権取得済みコンピュータプログラムが含まれている場合があります。著作権で保護されたコンピュータプログラムに対する特定の独占的権利が、米国およびその他諸国の法律で保護されています。従って、本マニュアルで説明される製品に含まれるいかなる著作権取得済みコンピュータプログラムも、書面による明示的な許可なしに、いかなる方法においても複製または再生してはなりません。

© 2015 Symbol Technologies, Inc. All Rights Reserved

本マニュアルのいかなる部分についても、いかなる形式であろうと、いかなる手段によっても、事前の書面による許可なしに複製、伝送、情報検索システムへの格納、あらゆる言語への翻訳、コンピュータ言語への変換をしてはいけません。

さらに、製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、著作権、特許または特許アプリケーションの対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生ずる通常の非独占的な、著作権使用料無料の使用ライセンスについては、この限りではありません。

免責条項:

本マニュアルで説明する特定の機能、設備、性能は、特定のシステムについては適用されない、あるいは特定のシステムで使用するためのライセンスが供与されない場合があります。また、特定のモバイル加入者ユニットや特定のパラメータの設定上の特性によって異なる場合があることに注意してください。詳細については、担当の連絡先にご確認ください。

商標

Zebra および Zebra ヘッドグラフィックは、ZIH Corp の登録商標です。Symbol ロゴは、Zebra Technologies の一部門である Symbol Technologies, Inc. の登録商標です。

改訂版履歴

元のガイドに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01 改訂版 A	08/30/2013	初期リリース
-02 Rev A	04/24/2014	RS507 サポートの追加、Bluetooth ペアリング ユーティリティ PTT Express アプリケーションの更新
-03 Rev A	02/10/2015	Zebra への商標変更

目次

著作権.....	3
改訂版履歴.....	5
このガイドについて.....	11
マニュアルセット.....	11
構成.....	11
章の説明.....	12
表記規則.....	12
アイコンの表記規則.....	13
関連文書.....	13
サービスに関する情報.....	13
第 1 章: ご使用の前に.....	15
機能.....	15
パッケージの開梱.....	18
設定.....	18
バッテリーの取り付け.....	18
バッテリーの充電.....	19
MC40 の電源の入れ方.....	20
バッテリーの交換.....	20
バッテリー管理.....	21
日時の設定.....	23
ディスプレイの設定.....	23
画面の輝度の設定.....	23
画面回転の設定.....	24
画面タイムアウト設定の変更.....	24
一般的なサウンド設定.....	25
第 2 章: MC40 の使用.....	27
ホーム画面.....	27
ステータスバー.....	28
ステータスアイコン.....	29
通知アイコン.....	30
通知の管理.....	31
アプリケーションショートカットとウィジェット.....	31
アプリケーションまたはウィジェットをホーム画面に追加する.....	32
ホーム画面での項目の移動.....	32
アプリケーションまたはウィジェットをホーム画面から削除する.....	32
フォルダ.....	32
フォルダの作成.....	32
フォルダの名前付け.....	33
フォルダの削除.....	33
ホーム画面の壁紙.....	33
ホーム画面の壁紙の変更.....	33
タッチスクリーンの使用方法.....	34
画面キーボードの使用方法.....	34
アプリケーション.....	35

アプリケーションへのアクセス.....	37
現在使用されているアプリケーションの切り替え.....	38
画面のロック解除.....	39
[Single User] (単一ユーザー) モード.....	39
MultiUser モード.....	41
MultiUser ログイン.....	41
MultiUser ログアウト.....	42
デバイスのリセット.....	42
ソフトリセットの実行.....	42
ハードリセットの実行.....	42
サスペンドモード.....	42
ファイルブラウザ.....	43
PTT Express Voice Client.....	44
PTT 通信の有効化.....	46
トーク グループの選択.....	47
PTT 通信.....	47
グループ通話の作成.....	48
グループブロードキャストへの応答.....	48
プライベート応答での応答.....	48
有線ヘッドセットでのプライベート応答による応答.....	48
PTT Express Voice Client 通信の無効化.....	49
VoIP テレフォニー対応.....	49

第 3 章: データ収集..... 51

イメージャ.....	51
デジタルカメラ.....	52
RS507 ハンズフリー イメージャ.....	52
スキャン操作に関する考慮事項.....	52
イメージャを使用したバーコード データの収集.....	53
内蔵カメラを使用したバーコード データの収集.....	54
RS507 ハンズフリー イメージャによるバーコードの読み取り.....	55
SSI を使用した RS507 ハンズフリー イメージャのペアリング.....	56
RS507 ハンズフリー イメージャ Bluetooth HID とのペアリング.....	57
磁気ストライプカードを読み取る.....	57
不適切なカードの通し方.....	59
での DataWedge.....	61
DataWedge の有効化.....	61
DataWedge の無効化.....	62

第 4 章: WLAN..... 63

Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続.....	63
---------------------------	----

第 5 章: Bluetooth..... 65

適応型周波数ホッピング.....	65
セキュリティ.....	65
Bluetooth プロファイル.....	66
Bluetooth の電源の状態.....	66
Bluetooth 無線の電源 – Android.....	67
Bluetooth の有効化.....	67
Bluetooth の無効化.....	67

Bluetooth デバイスを検出する.....	67
Bluetooth の名前の変更.....	68
Bluetooth デバイスへの接続.....	69
Bluetooth デバイスでのプロファイルの選択.....	69
Bluetooth デバイスからの切断.....	69
Bluetooth デバイスのペアリング解除.....	70
第 6 章: 写真とビデオ.....	71
写真の撮影.....	71
パノラマ写真の撮影.....	72
ビデオの録画.....	73
カメラの設定.....	74
ビデオの設定.....	75
写真やビデオの表示.....	76
アルバムの処理.....	77
アルバムの共有.....	77
アルバム情報の取得.....	77
アルバムの削除.....	78
写真の処理.....	78
写真の表示およびブラウズ.....	78
写真の回転.....	79
写真のトリミング.....	79
写真情報の取得.....	80
写真の共有.....	80
写真の削除.....	80
ビデオの処理.....	80
ビデオの再生.....	80
ビデオの共有.....	81
ビデオの削除.....	81
第 7 章: アクセサリ.....	83
MC40 のアクセサリ.....	83
マイクロ USB ケーブル.....	84
シングル スロット 充電クレードル.....	85
5 スロット 充電専用クレードル.....	86
4 スロット バッテリー充電器.....	88
第 8 章: メンテナンスとトラブルシューティング.....	91
MC40 のメンテナンス.....	91
バッテリーの安全に関するガイドライン.....	91
クリーニング方法.....	92
MC40 のクリーニング.....	93
コネクタのクリーニング.....	93
クレードルのコネクタのクリーニング.....	94
MC40 のトラブルシューティング.....	94
シングル スロット 充電クレードルのトラブルシューティング.....	96
5 スロット 充電専用クレードル CRDUNIV-40-5000R のトラブルシューティング.....	97
4 スロット バッテリー充電器 SACMC40XX-4000R のトラブルシューティング.....	98

第 9 章: 技術仕様	99
MC40 技術仕様.....	99
シングル スロット 充電 クレードル CRDMC40XX-1000R の技術仕様.....	102
5 スロット 充電 専用 クレードル CRDUNIV-40-5000R の技術仕様.....	102
4 スロット バッテリ 充電器 SACMC40XX-4000R の技術仕様.....	103

このガイドについて

このガイドでは、MC40 とアクセサリの使用方法について説明します。



注: このガイドで示している画面とウィンドウの図は、例として示しているものであり、実際の画面と異なることがあります。

マニュアルセット

MC40 のマニュアルセットは、ユーザーの個々のニーズに応じた情報を提供しており、次のマニュアルで構成されています。

- 『MC40 Quick Start Guide』 - デバイスの主な機能の使用方法について説明しています。
- 『MC40 Regulatory Guide』 - 法規制に関して必要な情報が記載されています。
- 『MC40 User Guide』 - デバイスの使用方法について説明しています。
- 『MC40 Integrator Guide』 - デバイスとアクセサリの設定方法について説明しています。

構成

このガイドは、以下のモデルを対象としています。

構成	無線	ディスプレイ	メモリ	データ収集オプション	オペレーティングシステム
MC40	WLAN: 802.11a/b/g/n/r WPAN: Bluetooth v2.1 + EDR	4.3" カラー WVGA	1GB RAM/8GB フラッシュ	カメラおよびイメージャまたは、カメラ、イメージャおよび MSR、オプションの RS507 ハンズフリーイメージャ	Android ベース、Android オープンソースプロジェクト 4.1.1

ソフトウェアバージョン

現在のソフトウェアバージョンを確認するには、 >  [About device] (デバイス情報) をタッチします。

- **[Serial number] (シリアル番号)** - シリアル番号を表示します。
- **[Model number] (モデル番号)** - モデル番号を表示します。
- **[Android version] (Android バージョン)** - オペレーティングシステムのバージョンを表示します。
- **[Kernel version] (カーネルバージョン)** - カーネルのバージョン番号を表示します。
- **[Build number] (ビルド番号)** - ソフトウェアのビルド番号を表示します。

ビルド番号には、ソフトウェアのリビジョン番号と、MC40 が VoIP テレフォニー対応かどうかの表示が含まれます。

ビルド番号の例: 0z-4AJ11-J-xxxx-xxxx-y0-M1-mmddy

- **z** = ソフトウェアのバージョン番号
- **y** = VoIP テレフォニー対応

値は次のとおりです。

- **0** = VoIP テレフォニー対応ではない
- **V** = VoIP テレフォニー対応である
- **F** = FIPS および VoIP テレフォニー対応である

章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- [ご使用の前に \(ページ15\)](#) MC40 を初めて使用する際の手順について説明します。
- [MC40 の使用 \(ページ27\)](#) MC40 の電源の入れ方やリセット方法など、MC40 を使用する際の基本的な手順について説明します。
- [データ収集 \(ページ51\)](#) 内部カメラや、オプションのスキャン モジュールおよび Bluetooth スキャナを使用してバーコードデータを取得する手順について説明します。
- [WLAN \(ページ63\)](#) Wi-Fi の設定方法について説明します。
- [Bluetooth \(ページ65\)](#) Bluetooth の設定方法について説明します。
- [写真とビデオ \(ページ71\)](#) 写真やビデオの撮り方、画像を Gallery (ギャラリー) アプリケーションで表示する方法について説明します。
- [アクセサリ \(ページ83\)](#) 取り付け可能なアクセサリと、アクセサリを MC40 で使用する方法について説明します。
- [メンテナンスとトラブルシューティング \(ページ91\)](#) MC40 のお手入れ方法と保管方法、および MC40 の操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。
- [技術仕様 \(ページ99\)](#) MC40 の技術仕様について説明します。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- *斜体*は、次の項目の強調に使用します。
 - 本書および関連文書の章およびセクション
 - 画面上のアイコン
- **太字**は、次の項目の強調に使用します。
 - ダイアログ ボックス、ウィンドウ、画面名
 - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
 - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
 - 画面上のボタン名
- 中黒 (・) は、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法のリスト
 - 実行する必要はあるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要のある手順 (たとえば、順を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。

アイコンの表記規則

このマニュアルセットでは、読者にわかりやすいように、視覚的な工夫がなされています。マニュアルセット全体で、次のグラフィックアイコンが使用されています。使用されているアイコンと各アイコンの意味について、以下で説明します。



警告:「警告」という言葉とそれに対応する安全アイコンは、従わなかった場合、死亡または重大な傷害を負う可能性、あるいは重大な製品の損傷が発生する可能性のある情報を意味します。



注意:「注意」という言葉とそれに対応する安全アイコンは、従わなかった場合、軽度または中程度の傷害を負う可能性、あるいは重大な製品の損傷が発生する可能性のある情報を意味します。



注:「注」には、例外や前提条件など、周囲のテキストより重要な情報が記載されています。また、「注」では、追加情報の参照先、操作の完了方法の確認(たとえば、現在説明している手順に記載されていない場合)、または特定の要素が画面に表示される場所を説明します。「注」に対応する警告レベルはありません。

関連文書

- *MC40 クイック スタート ガイド* (p/n 72-166941-xx)
- *MC40 規制ガイド* (p/n 72-166942-xx)
- *MC40 Integrator Guide* (p/n 72E-166943-xx)
- 『*RS507 Hands-free Imager Product Reference Guide*』 (p/n 72E-120802-xx)

本書およびすべてのガイドの最新バージョンは、<http://www.zebra.com/support> から入手可能です。

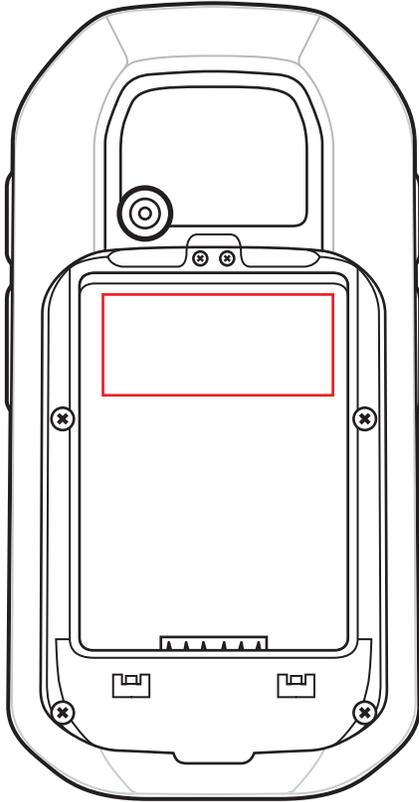
サービスに関する情報

本機器に問題が発生した場合は、お客様の地域の Zebra サポートにお問い合わせください。お問い合わせ先は、<http://www.zebra.com/support> に記載されています。

Zebra サポート センターへのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号 (製造ラベルに記載)
- モデル番号または製品名 (製造ラベルに記載)
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号

図 1: 製造ラベルの場所



Zebra は、お客様のお問い合わせに対して、サポート合意書に指定された期限までに、電子メール、または電話にて回答を行います。

Zebra サポートセンターが問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。Zebra は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切に移動すると、保証が無効になる場合があります。

ご使用の製品を Zebra ビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

第1章

ご使用前に

ここでは、MC40 の特徴と、初回使用時のセットアップ方法を説明します。

機能

図 2: 正面図

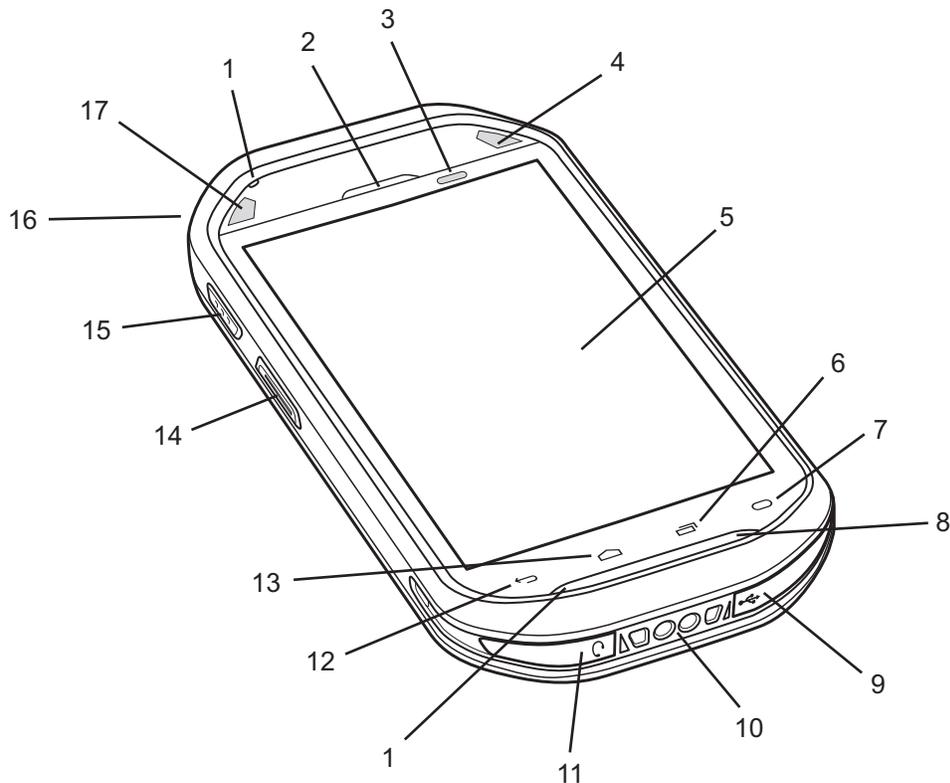


表 1: 機能 - 正面図

番号	各部の名称	機能
1	マイク	音声の録音に使用します。
2	レシーバ	ハンドセットモードでオーディオを提供します。

次ページに続く ...

番号	各部の名称	機能
3	光/近接センサー	周辺光を判断してディスプレイのバックライトの輝度を制御し、ハンドセットモードのときにはディスプレイをオフにします。
4	右の LED	MC40 が充電器に設置されているときに、バッテリーの充電状態を示します。 読み取り機能を示します。読み取りが正常に完了したら、緑色に点灯します。
5	タッチ スクリーン	MC40 の操作に必要なすべての情報が表示されます。
6		メニュー ボタン 現在の画面またはアプリケーションに影響を及ぼす項目のメニューが開きます。
7		検索 - [Search] (検索) ウィンドウが開きます。
8	スピーカー	ビデオおよび音楽を再生するためのオーディオ出力を提供します。
9	USB コネクタ	クレードルおよびケーブルからデバイスに電力を供給し、USB クラウド通信およびホスト通信を行えるようにします。
10	充電用接点	クレードルから MC40 に電力を供給します。
11	ヘッドセットジャック	モノヘッドセット (3 ワイヤ、2.5mm プラグ) に接続します。
12		戻るボタン - 前の画面を表示します。画面キーボードが開いている場合は、キーボードを閉じます。
13		ホーム ボタン - ワンタッチでホーム画面を表示します。短時間タッチし続けると、最近使用したアプリケーションが表示されます。
14	左のスキャン/アクション ボタン	スキャンアプリケーションが有効な場合のスキャンを示します (デフォルト)。ボタンリマッププログラムを使用してプログラム可能です。詳細は、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。
15	PTT ボタン	PTT Express がアクティブな場合に、ブロードキャスト PTT 通話を示します。ボタンリマッププログラムを使用してプログラム可能です。詳細は、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。
16	電源ボタン	ボタンを押して、その状態を維持すると、MC40 の電源がオンになります。押すと、画面がオンまたはオフになります。ボタンを押して、その状態を維持し、次のオプションから 1 つを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Silent mode] (サイレントモード) - デバイスはバイブモードに設定されます。アラーム以外のすべてのサウンドは無効に設定されます。 • [Airplane mode] (機内モード) - すべての無線接続が無効になります。 • [Disable Touch Keys] (タッチ キーの無効化) - 画面の下にある 4 つのタッチ キーを無効または有効にします。 • [Battery swap] (バッテリー交換) - バッテリーの交換中にデバイスをバッテリー交換モードにします。 • [Reset] (リセット) - ソフトウェアが応答を停止した場合に、MC40 を再起動します。

次ページに続く ...

番号	各部の名称	機能
		<ul style="list-style-type: none"> • [Power off] (電源オフ) - MC40 の電源をオフにします。
17	左の LED	読み取り機能を示します。読み取りが正常に完了したら、緑色に点灯します。

図 3: 背面図

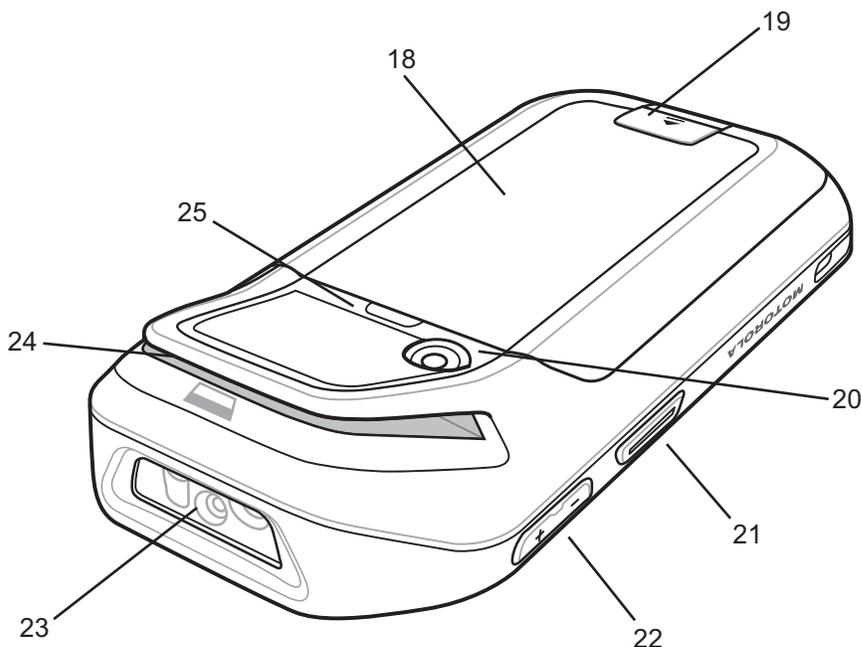


表 2: 機能 - 背面図

番号	各部の名称	機能
18	バッテリー	MC40 に動作電力を供給します。
19	バッテリー ラッチ	バッテリーを所定の位置に固定します。
20	カメラ	写真やビデオの撮影、バーコードデータの収集を行います。
21	右のスキャン/アクション ボタン	スキャンアプリケーションが有効な場合のスキャンを示します (デフォルト)。ボタンリマッププログラムを使用してプログラム可能です。詳細は、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。
22	音量の調節	オーディオの音量を上げたり下げたりします。ボタンリマッププログラムを使用してプログラム可能です。詳細は、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。
23	イメージャ	バーコードデータを収集します。
24	MSR スロット (オプション)	クレジット取引またはデビット取引の際に、磁気ストライプカードのスイープに使用します。
25	フィンガーストラップ プラグ	オプションのフィンガーストラップの取り付け位置をカバーします。

パッケージの開梱

MC40 を覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。

次の同梱品がパッケージに入っていることを確認します。

- MC40
- リチウムイオンバッテリー
- クイックスタートガイド
- 規制ガイド

破損している機器がないかどうかを確認してください。不足または破損している機器がある場合は、直ちに Zebra サポートセンターにお問い合わせください。連絡先については、[サービスに関する情報 \(ページ 13\)](#)を参照してください。

設定

MC40 を初めて使用する際には、次のことを行います。

- バッテリーの取り付け
- MC40 の充電
- MC40 の電源オン

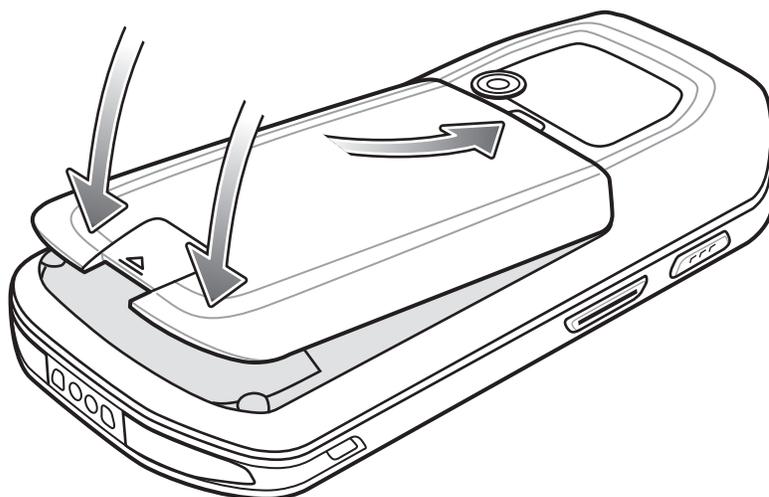
バッテリーの取り付け

バッテリーを取り付けるには、次の手順に従います。

手順

- 1 バッテリーがバッテリー収納部内に収まるよう調整します。

図 4: バッテリーの取り付け



- 2 バッテリーが所定の位置にカチッとハマるまで押し下げます。
- 3 バッテリー ラッチを押し下げます。
- 4 電源ボタンを押して、MC40 の電源をオンにします。

バッテリーの充電



注意: バッテリーの安全については、[バッテリーの安全に関するガイドライン\(ページ91\)](#)で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

MC40 を初めて使用する場合は、右のバッテリー充電発光ダイオード (LED) が緑色に点灯するまで、メインバッテリーを充電します (充電状態のインジケータについては、[表3: バッテリー充電LED の状態\(ページ19\)](#)を参照してください)。MC40 を充電するには、ケーブルまたはクレードルを使って適切な電源に接続してください。MC40 で使用可能なアクセサリの詳細については、[アクセサリ\(ページ83\)](#)を参照してください。

MC40 にはメモリ バックアップ バッテリーが装備されており、このバッテリーはフル充電されたメインバッテリーから自動的に充電されます。MC40 を初めて使用する場合は、バックアップ バッテリーがフル充電されるまで約 36 時間かかります。また、メインバッテリーを数時間取り外して、バックアップ バッテリーが放電した場合も、同じ時間がかかります。MC40 のメインバッテリーを取り外したとき、バッテリー交換機能が使用されていれば、少なくとも 10 分間 (室温の場合) は、バックアップ バッテリーによってランダム アクセス メモリ (RAM) データがメモリ内で維持されます。MC40 のバッテリー残量が非常に少なくなった場合、メモリ内の RAM データは、メインバッテリーとバックアップ バッテリーの両方によって少なくとも 48 時間維持されます。

ケーブルおよびクレードルの取り扱い方法および充電手順については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

- マイクロ USB ケーブル
- シングル スロット充電クレードル
- 5 スロット充電専用クレードル

表 3: バッテリー充電 LED の状態

ステータス	意味
オフ	MC40 が充電されない。 MC40 がクレードルに正しく挿入されていません。 MC40 が電源に接続されていません。 充電器またはクレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 (2 秒に 3 回)	MC40 が充電中です。
緑色の点灯	充電が完了しました。
黄色で速く点滅 (1 秒に 3 回)	充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎる、または高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎる (通常は、8 時間以上)。
電源ボタンを押したときに、黄色で 1 回点滅	バッテリー残量が重大な状態です。バッテリー残量が少なすぎて、デバイスを起動できません。
電源ボタンを押したときに、黄色で速く点滅	バッテリーが過熱状態になっています。デバイスがシャットダウンされます。バッテリーは、正常な操作を行える温度に戻るまで充電されません。

充電温度

バッテリーの充電は、周辺温度 0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)、またはバッテリーに記載されている 45°C (113°F)

以下の環境で行ってください。バッテリーの温度を確認するには、 >  [About device] (デバイス情報) > [Battery Information] (バッテリー情報) をタッチします。

充電は、MC40 によって精密に制御されています。温度制御を行うため、MC40 やアクセサリは、バッテリーの充電状態を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC40 やアクセサリの LED にエラーが表示されます。

予備バッテリーの充電

アクセサリを使用して予備バッテリーを充電する方法については、[アクセサリ \(ページ 83\)](#) を参照してください。

MC40 の電源の入れ方

バッテリーを装着しても MC40 の電源がオンにならなかった場合は、右および左の LED が 1 回点滅するまで電源ボタンを押します。MC40 がフラッシュファイルシステムを開始するときに、起動画面が 1 分程度表示されます。これらのウィンドウは、リセット時也表示されます。

バッテリーの交換

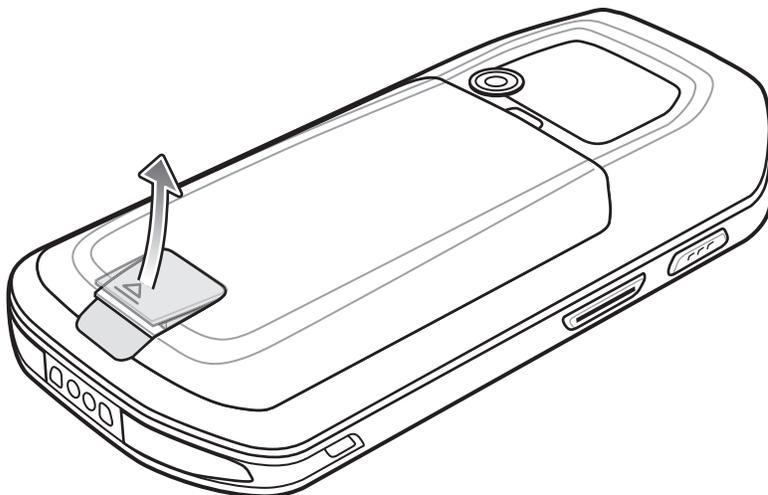


注: バッテリー交換モードの手順に従っていることを確認してください。従っていない場合、バックアップバッテリーが短期間で消耗されます。

手順

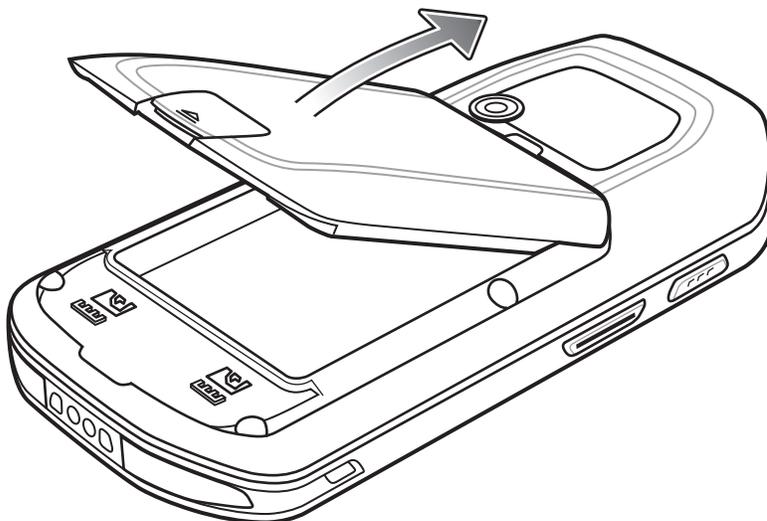
- 1 メニューが表示されるまで電源ボタンを押します。
- 2 [Battery Swap] (バッテリー交換) をタッチします。左右の LED が赤く点灯します。
- 3 LED が消灯するまで待ちます。
- 4 バッテリー ラッチを持ち上げます。

図 5: バッテリー ラッチを持ち上げる



- 5 バッテリーをバッテリー コンパートメントから取り出します。

図 6: バッテリーを取り出す



- 6 交換したバッテリーがバッテリー収納部に収まるよう調整します。
- 7 バッテリーが所定の位置にカチッとハマるまで押し下げます。
- 8 バッテリー ラッチを押し下げます。
- 9 電源ボタンを押して、MC40 の電源をオンにします。

バッテリー管理



注:

バッテリー充電レベルを確認する前に、すべての AC 電源 (クレードルまたはケーブル) から MC40 を取り外します。

メインバッテリーの充電状態を確認するには、 >  [About device] (デバイス情報) > [Status] (ステータス) をタッチします。

[Battery status] (バッテリー状態) にはバッテリーの放電状況が示され、[Battery level] (バッテリー レベル) にはバッテリー充電量 (フル充電と比較した割合) がリストされます。

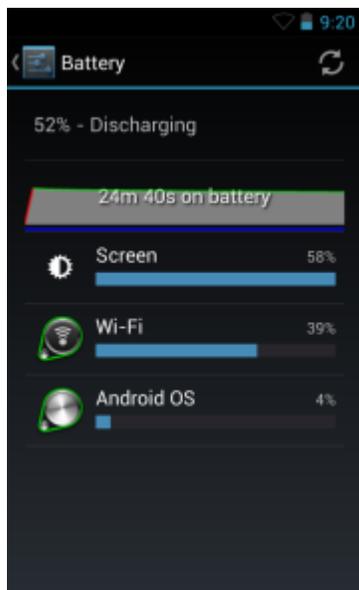
バッテリー使用量の監視

[Battery Use] (バッテリーの使用) 画面には、どのアプリケーションがバッテリー電力を最も消費しているかがリストされます。またこの画面を使用して、ダウンロードしたアプリケーションの中で電力を消費しすぎているものをオフにすることもできます。



>  [Battery] (バッテリー) をタッチします。

図 7: [Battery Use] (バッテリーの使用) 画面



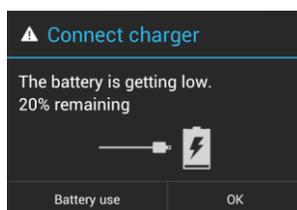
[Battery Use] (バッテリーの使用) 画面には、バッテリーを使用しているアプリケーションがリストされます。画面上部の放電状況グラフには、最後に充電されたときからのバッテリーの放電率と (充電器に接続された短期間は、図の下部に薄い緑色の線で示されます)、バッテリー電源で稼動している時間が表示されます。

[Battery Use] (バッテリーの使用) 画面でアプリケーションにタッチすると、その電力消費についての詳細が表示されます。アプリケーションによって、表示される情報は異なります。アプリケーションの中には、電力使用を調整するための設定画面が開くボタンが含まれているものもあります。

低バッテリー通知

バッテリーの充電状態が 20% を下回ると、MC40 のアラート音が鳴り、MC40 を電源に接続するように指示する通知が表示されます。

図 8: [Low Battery Notification] (低バッテリー通知) 画面



ユーザーはバッテリーを交換するか、次の充電アクセサリのいずれかを使用して MC40 を充電する必要があります。

バッテリーの充電状態が 15% を下回ると、MC40 のアラート音が鳴り、MC40 を電源に接続するように指示する通知が表示されます。

バッテリーの充電状態が 12% を下回ると、MC40 のアラート音が鳴り、画面がオフになります。左右の LED が赤く点灯し、データを保存するための重大なサスペンドモードに移行します。重大なサスペンドモードになったら、左右の LED が消灯します。

データを保持するために、ユーザーはバッテリーを交換するか、次の充電アクセサリのいずれかを使用して MC40 を充電しなければなりません。

バッテリーの最適な使用方法

バッテリーを節約するためのヒントを以下に示します。

- MC40 を使用しないときは、常に AC 電源に接続しておきます。
- アイドル状態で一定時間経過したら画面がオフになるように画面を設定します。
- 画面の明るさを抑えます。
- 無線機能を使用していないときは、すべての無線機能をオフにします。
- 電子メール、カレンダー、連絡先、および他のアプリケーションの自動同期機能をオフにします。
- [Power Control] (電源コントロール) ウィジェットを使用して、無線、画面の輝度、および同期機能のステータスを確認して制御します。
- 音楽やビデオアプリケーションなどのアプリケーションの使用を最小限に抑えて、MC40 がサスペンド状態にならないようにします。

日時の設定

日付と時刻は、MC40 が無線ネットワークに接続されると、NTP サーバーを使用して自動的に同期されます。ユーザーが設定する必要があるのは、タイムゾーンのみです。または、無線ネットワークに接続していないときは、日時を設定する必要があります。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  [Date & time] (日付と時刻) をタッチします。
- 3 [Automatic date & time] (自動日付と時刻) をタッチして、日付と時刻の自動同期を無効にします。
- 4 [Automatic time zone] (タイムゾーンの自動設定) をタッチして、タイムゾーンの自動同期を無効にします。
- 5 [Set date] (日付の設定) をタッチします。
- 6 スライダを上下に移動し、月、日、年を選択します。
- 7 [Done] (完了) をタッチします。
- 8 [Set time] (時間の設定) をタッチします。
- 9 スライダを上下に移動し、時、分、午前/午後を選択します。
- 10 [Done] (完了) をタッチします。
- 11 [Select time zone] (タイムゾーンの選択) をタッチします。
- 12 リストから現在のタイムゾーンを選択します。
- 13  をタッチします。

ディスプレイの設定

[Display settings] (ディスプレイの設定) を使用して、画面の輝度の変更、バックグラウンドイメージの変更、画面の回転の有効化、スリープ時間の設定、フォントサイズの変更を実行できます。

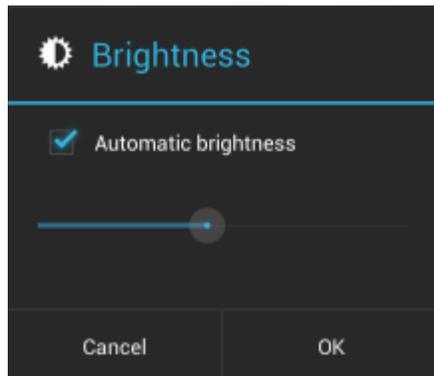
画面の輝度の設定

手順

- 1  をタッチします。
- 2  [Display] (ディスプレイ) をタッチします。

- 3 [Brightness] (輝度) をタッチします。

図 9: [Brightness] (輝度) ダイアログ ボックス



- 4 [Brightness] (輝度) ダイアログ ボックスで、[Automatic brightness] (輝度自動調整) チェックボックスをオンにして、内蔵光センサーで輝度が自動的に調整されるようにデバイスを設定します。輝度を手動で設定するには、このチェックボックスをオフにします。スライダを使用して、輝度レベルを設定します。
- 5 スライダを使用して、輝度レベルを設定します。
- 6 [OK] をタッチします。
- 7  をタッチします。

画面回転の設定

ユーザーは、MC40 画面が 90 度左または右に回転するよう設定できます。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
- 3 [Display settings] (ディスプレイの設定) 画面で [Auto-rotate screen] (画面自動回転) をオンにして、MC40 を回転したときに MC40 の向きが自動的に切り替わるよう設定します。
- 4  をタッチします。

画面タイムアウト設定の変更

アイドル状態で一定時間が経過したら電源がオフになるように MC40 を設定するには、次の手順に従います。

手順

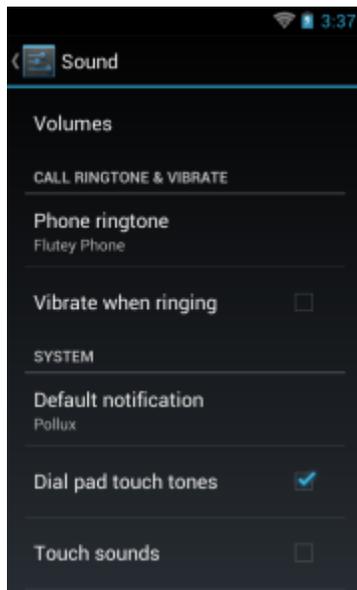
- 1  をタッチします。
- 2  [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
- 3 [Sleep] (スリープ) をタッチします。
- 4 [Sleep] (スリープ) ウィンドウで値を選択します。以下のオプションを選択できます。
 - [15 seconds] (15 秒)
 - [30 seconds] (30 秒)
 - [1 minute] (1 分) (デフォルト)
 - [2 minutes] (2 分)
 - [5 minutes] (5 分)

- [10 minutes] (10 分)
 - [30 minutes] (30 分)
- 5  をタッチします。

一般的なサウンド設定

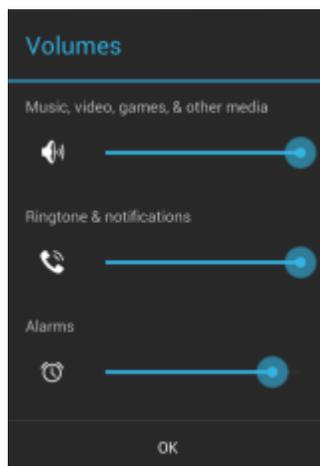
[Sounds] (サウンド) 設定を使用して、メディアおよびアラームの音量を設定します。  >  [Sounds] (サウンド) をタッチします。

図 10: [Sounds] (サウンド) 画面



- [Volumes] (音量) - メディア、呼び出しトーン、通知、およびアラームの音量を変更するために使用します。

図 11: [Volumes] (音量) ダイアログ ボックス



- 着信音とマナーモード

- **[Phone ringtone] (電話の呼び出しトーン)** - VoIP 通話の着信時に鳴る呼び出しトーンを選択するダイアログ ボックスを開きます (VoIP テレフォニー対応のみ)。
- **[Vibrate when ringing] (呼び出し時のバイブ)** - オンにすると、通話の着信時にデバイスが振動します (VoIP テレフォニー対応のみ)。
- システム
 - **[Default notification] (デフォルトの通知)** - タッチすると、すべてのシステム通知に関して再生されるサウンドを選択できます。
 - **[Touch sounds] (タッチ トーン)** - オンにすると、画面で選択したときにサウンドが再生されます。
 - **[Screen lock sounds] (画面ロック音)** - オンにすると、画面をロックまたはロック解除したときに音が鳴ります。
 - **[Vibrate on touch] (タッチ バイブ)** - オンにすると、ソフト キーをタッチしたときや、特定の画面の操作時にデバイスが振動します。

第 2 章

MC40 の使用

ここでは、MC40 の画面、ステータス アイコン、通知アイコン、およびコントロールについて紹介し、MC40 の基本的な使用方法を説明します。

ホーム画面

ホーム画面は、MC40 をオンにすると表示されます。設定によって、ホーム画面に表示される内容は異なります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

サスペンドまたは画面タイムアウトの後、ホーム画面にはロック スライダが表示されます。 を  に向けて右にスライドして、画面のロックを解除します。画面のロックの詳細については、[画面のロック解除 \(ページ39\)](#)を参照してください。

図 12: ホーム画面



ホーム画面には、次の機能があります。

表 4: ホーム画面の項目

各部の名称	説明
1 — ステータスバー	時間、ステータスアイコン (右側)、および通知アイコン (左側) が表示されます。詳細については、 ステータスアイコン (ページ29) および 通知の管理 (ページ31) を参照してください。
2 - [Browser] (ブラウザ) アイコン	[Browser] (ブラウザ) アプリケーションを開きます。
3 — すべてのアプリ アイコン	[APPS] (アプリ) ウィンドウを開きます。
4 - [Settings] (設定) アイコン	[Settings] (設定) ウィンドウを開きます。
5 — ショートカットアイコン	MC40 にインストールされているアプリケーションを開きます。詳細については、 アプリケーションショートカットとウィジェット (ページ31) を参照してください。
6 — ウィジェット	ホーム画面で実行するスタンドアロン型のアプリケーションを起動します。詳細については、 アプリケーションショートカットとウィジェット (ページ31) を参照してください。

ホーム画面には、ウィジェットとショートカットを配置するための4つの追加画面があります。画面を左右にスワイプすると、追加画面が表示されます。

ステータスバー

ステータスバーには、時間、通知アイコン (左側)、およびステータスアイコン (右側) が表示されます。

図 13: 通知アイコンおよびステータスアイコン



1	通知アイコン
2	ステータスアイコン

ステータスバーに表示可能な数より多くの通知がある場合は、他にも通知があることを示す  が表示されます。[Notifications] (通知) パネルを開き、すべての通知とステータスを表示します。

ステータス アイコン

表 5: ステータス アイコン

アイコン	説明
	Bluetooth がオンになっていることを示します。
	デバイスが別の Bluetooth デバイスに接続されていることを示します。
	アラームが有効であることを示します。
	メディアとアラーム以外のすべてのサウンドがサイレンスに設定され、バイブモードが有効になっていることを示します。
	オーディオがサイレンスに設定されていることを示します。
	Wi-Fi ネットワークに接続されていることを示します。最適な信号強度
	Wi-Fi ネットワークに接続されていることを示します。良好な信号強度
	Wi-Fi ネットワークに接続されていることを示します。適正な信号強度
	Wi-Fi ネットワークに接続されていることを示します。弱い信号強度
	Wi-Fi 信号がないことを示します。
	バッテリーの充電が非常に少ないことを示します。
	バッテリーの充電が少ないことを示します。
	バッテリーの一部が消耗された状態であることを示します。
	バッテリーが完全に充電された状態であることを示します。
	バッテリーが充電中であることを示します。
	MC40 がバッテリー容量のレベルを計算中であることを示します。
	未知の充電エラーであることを示します。
	バッテリーが、充電するには高すぎる温度に近づいていることを示します。

次ページに続く ...

アイコン	説明
	バッテリーが、充電するには低すぎる温度に近づいていることを示します。
	機内モードがアクティブであることを示します。すべての無線がオフになります。
	有線ヘッドセットが MC40 に接続されていることを示します。

通知アイコン

表 6: 通知アイコン

アイコン	説明
	表示可能な通知が他にもあることを示します。
	データを同期していることを示します。
	間近に迫ったイベントを示します。
	オープン Wi-Fi ネットワークを使用できることを示します。
	音楽が再生されていることを示します。
	サインインまたは同期に関する問題が発生したことを示します。
	デバイスがデータをアップロードしていることを示します。
	内部ストレージに空き容量がほとんどなくなっていることを示します。
	動画表示の場合は、デバイスがデータのダウンロード中であることを示し、静止画表示の場合は、ダウンロードが完了したことを示します。
	デバイスが USB ケーブルを使用して接続されていることを示します。
	デバイスが仮想プライベート ネットワーク (VPN) に接続されていることを示します。
	内部ストレージを準備しています。
	デバイスで USB デバッグが有効になっていることを示します。
	スクリーンショットをキャプチャしました。
	スクリーンショットのキャプチャ中にエラーが発生しました。

次ページに続く ...

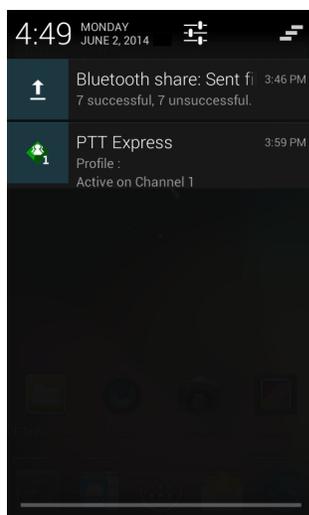
アイコン	説明
	MultiUser 機能が有効になっていることを示します。
	新しいユーザーがログインしていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントのステータスを示します。

通知の管理

通知アイコンは、新しいメッセージの到着、カレンダー イベント、およびアラームに加えて、進行中のイベントも報告します。通知が行われると、簡単な説明とともにアイコンがステータス バーに表示されます。表示される可能性のある通知アイコンとその説明のリストについては、[通知アイコン\(ページ30\)](#)を参照してください。すべての通知のリストを表示するには、**[Notifications] (通知)** パネルを開きます。

[Notification] (通知) パネルを開くには、画面の上部からステータス バーを下にドラッグします。

図 14: [Notification] (通知) パネル



通知に応答するには、[Notifications] (通知) パネルを開いて、通知をタッチします。[Notifications] (通知) パネルが閉じます。この後の操作は、通知によって異なります。

すべての通知をクリアするには、[Notifications] (通知) パネルを開き、 をタッチします。イベントベースのすべての通知が削除されます。進行中の通知はそのままリストに残ります。

[Notification] (通知) パネルを閉じるには、[Notifications] (通知) パネルの下部を画面の上部までドラッグするか、 をタッチします。

アプリケーション ショートカットとウィジェット

アプリケーション ショートカットは、ホーム画面に置かれており、アプリケーションにすばやく簡単にアクセスできます。ウィジェットとはホーム画面に置かれた内蔵型のアプリケーションであり、これを使用して、頻繁に使用する機能にアクセスできます。

アプリケーションまたはウィジェットをホーム画面に追加する

手順

- 1 ホーム画面に移動します。
- 2  をタッチします。
- 3 必要に応じて、右にスワイプし、アプリケーションアイコンまたはウィジェットを探します。
- 4 ホーム画面が表示されるまで、アイコンまたはウィジェットをタッチし続けます。
- 5 アイコンを画面に配置したら、指を離します。

ホーム画面での項目の移動

手順

- 1 画面でフローティングするまで項目をタッチし続けます。
- 2 項目を新しい場所にドラッグします。画面の端で一時停止し、隣接するホーム画面まで項目をドラッグします。
- 3 指を持ち上げ、項目をホーム画面に配置します。

アプリケーションまたはウィジェットをホーム画面から削除する

手順

- 1 ホーム画面に移動します。
- 2 アプリケーションのショートカットアイコンまたはウィジェットアイコンを、画面でフローティングするまでタッチし続けます。
- 3 アイコンを画面上部の  Remove にドラッグしたら、指を放します。

フォルダ

フォルダを使用して、同様のアプリケーションを整理します。フォルダをタップして、フォルダ内の項目を開き、表示します。

フォルダの作成

手順

- 1 ホーム画面に移動します。
- 2 ホーム画面に 2 個以上のアプリケーションショートカットを配置します。
- 3 画面でフローティングするまでショートカットをタッチし続けます。
- 4 アイコンを移動して他のアイコンに重ねます。青い円がアイコンの周囲に表示されます。

図 15: 重ねられたショートカットアイコン



- 5 指を放してアイコンを重ねます。ショートカットアイコンが黒い円の上に表示されます。

図 16: 名前未定フォルダ



フォルダの名前付け

手順

- 1 フォルダをタッチします。

図 17: フォルダを開く



- 2 タイトルのエリアをタッチし、キーボードを使用してフォルダ名を入力します。
- 3 **[Done] (完了)** をタッチします。
- 4 ホーム画面の任意の場所をタッチし、フォルダを閉じます。フォルダ名がフォルダの下に表示されます。

図 18: 名前が変更されたフォルダ



フォルダの削除

手順

- 1 フォルダ アイコンをタッチして、アイコンが拡大され、デバイスが振動するまで、その状態を維持します。
- 2 アイコンを **✕ Remove** までドラッグして放します。

ホーム画面の壁紙



注: [Live Wallpaper] (ライブ壁紙) を使用すると、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。

ホーム画面の壁紙の変更

手順

- 1 **[Choose Wallpaper from] (壁紙の選択)** メニューが表示されるまで、ホーム画面をタッチし続けます。
- 2 **[Gallery] (ギャラリー)**、**[Live wallpapers] (ライブ壁紙)**、または **[Wallpapers] (壁紙)** をタッチします。
 - **[Gallery] (ギャラリー)** - デバイスに保存されている画像を使用する場合に選択します。
 - **[Live wallpapers] (ライブ壁紙)** - 動画表示の壁紙画像を使用する場合に選択します。

- **[Wallpapers] (壁紙)** - 壁紙画像を使用する場合に選択します。
- 3 **[Save] (保存)** または **[Set wallpaper] (壁紙の設定)** をタッチします。

タッチスクリーンの使用方法

高感度のデュアル タッチ スクリーンを使用してデバイスを操作します。

- **タッチ** - タッチして次を行います。
 - 画面上の項目を選択します。
 - 画面キーボードを使用して、文字や記号を入力します。
 - 画面ボタンを押します。
- **タッチしてその状態を維持** - 次の項目をタッチして維持し、以下を行います。
 - ホーム画面の項目をタッチして、それを新しい場所かゴミ箱に移動します。
 - **[All Apps] (すべてのアプリケーション)** 画面の項目をタッチして、ホーム画面にショートカットを作成します。
 - ホーム画面をタッチして、ホーム画面の壁紙を変更します。
- **ドラッグ** - 項目をタッチしてしばらくの間その状態を維持した後、画面上の新しい位置まで指を移動します。
- **スワイプ** - 画面上で上下または左右に指を移動して、次を行います。
 - 画面のロックを解除します
 - 別のホーム画面を表示します
 - **[All Apps] (すべてのアプリケーション)** 画面に追加のアプリケーション アイコンを表示します
 - アプリケーションの画面についての詳細情報を表示します
- **ダブルタップ** - Web ページ、マップ、または他の画面を 2 回タップして、ズームインやズームアウトを行います。
- **ピンチ** - 一部のアプリケーションでは、画面上に指を 2 本置いて指の間隔を狭めたり (ズームアウト)、離したり (ズームイン) して、ズームインとズームアウトを行えます。

画面キーボードの使用方法

画面キーボードを使用して、テキスト フィールドにテキストを入力します。キーボード設定を行うには、

 (カンマ) >  をタッチし、**[Android keyboard settings] (Android キーボード設定)** を選択します。

テキストの編集

入力したテキストを編集して、メニュー コマンドを使用し、アプリケーション内または複数のアプリケーション間でテキストの切り取り、コピー、および貼り付けを行います。アプリケーションの中には、表示しているテキストの一部またはすべての編集をサポートしていないものや、テキストの選択に独自の方法を提供しているものもあります。

数字、記号、および特殊文字の入力

数字および記号を入力するには、次の手順に従います。

- メニューが表示されるまで最上部の行にあるキーの1つをタッチして、数字を選択します。キーに代替文字が設定されている場合、文字の下に省略文字 (...) が表示されます。
- Shift キーを1本の指でタッチしてその状態を維持しながら、1つまたは複数の大文字または記号をタッチして入力し、両方の指を放して小文字のキーボードに戻ります。
-  にタッチすると、数字と記号のキーボードに切り替わります。
- 数字と記号のキーボードで  キーにタッチすると、別の記号が表示されます。

特殊文字を入力するには、数字または記号のキーをタッチして、その他の記号のメニューが開くまでその状態を維持します。

- キーボードの上に、より大きいバージョンのキーが短時間表示されます。
- キーに代替文字が設定されている場合、文字の下に省略文字 (...) が表示されます。

アプリケーション

[All Apps] (すべてのアプリケーション) 画面には、インストールされたすべてのアプリケーションのアイコンが表示されます。表7: アプリケーション (ページ35) MC40 で使用可能なアプリケーションを示します。アプリケーションのインストールとアンインストールの詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

表 7: アプリケーション

アイコン	説明
	[Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ) - バーコードをスキャンして、Bluetooth デバイスを MC40 とペアリングするために使用します。
	[Browser] (ブラウザ) - インターネットまたはイントラネットにアクセスするために使用します。
	[Calculator] (電卓) - 基本演算機能および科学演算機能を備えています。
	[Calendar] (カレンダー) - イベントおよび予定を管理するために使用します。
	[Camera] (カメラ) - 写真を撮ったり、ビデオを録画したりします。詳細については、 写真とビデオ (ページ71) を参照してください。
	[Card Swipe Tutorial] (カードスワイプチュートリアル) - MSR スロットを備えたデバイスで MSR に磁気ストライプカードを通す練習をするために使用します。
	[Clock] (時計) - 予定のアラームをスケジュール設定するために使用したり、目覚ましとして使用したりします。

次ページに続く ...

アイコン	説明
	[DataWedge] - カメラまたはオプションのスキャナを使用して、データを取得できるようにします。
	[Device-Config] (デバイス設定) - 複数の MC40 デバイスを設定するために使用します。詳細は、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。
	[Downloads] (ダウンロード) - すべてのダウンロードファイルのリストを表示します。
	[DWDemo] - カメラ、スキャンモジュール、または磁気ストライプリーダーを使用したデータ収集機能をデモンストレーションする手段を提供します。
	[Email] (電子メール) - 電子メールを送受信するために使用します。
	[File Browser] (ファイルブラウザ) - デバイス上のファイルを整理および管理します。詳細については、 ファイルブラウザ(ページ43) を参照してください。
	[Gallery] (ギャラリー) - 内部ストレージに保存された写真を表示するために使用します。詳細については、 写真やビデオの表示(ページ76) を参照してください。
	[MLog Manager] (MLog マネージャ) - 診断用のログファイルを収集するために使用します。詳細は、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。
	[MSP Agent] (MSP エージェント) - MSP Server からデバイスを管理できます。必要なレベルの管理機能を使用するには、デバイスごとに適切な MSP クライアントライセンスを購入する必要があります。
	[Music] (音楽) - 内部ストレージに保存された音楽を再生します。
	[People] (連絡先一覧) - 連絡先の情報を管理するために使用します。
	[Phone] (電話) - 一部の VoIP クライアント (VoIP テレフォニー対応のみ) で使用する場合に、電話番号をダイヤルするために使用します。
	[PTT Express] - Voice Over IP (VoIP) 通信のための PTT Express クライアントを起動するのに使用します。

次ページに続く ...

アイコン	説明
	[Rapid Deployment] (高速導入) - 設定、ファームウェア、およびソフトウェアの導入を開始することで、初期使用に向けてデバイスをステージングできるようにします。デバイスごとに MSP クライアント ライセンスを購入する必要があります。
	[RxLogger] - デバイスとアプリケーションの問題を診断するために使用します。詳細は、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。
	[Search] (検索) - Google 検索エンジンを使用して、インターネットおよびデバイスを検索します。
	[Settings] (設定) - デバイスを設定するために使用します。詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。
	[Sound Recorder] (サウンド レコーダ) - 音声を録音するために使用します。
	[TecDocs] - オンデバイスのユーザー ガイドを表示します。
	[AppLock Administrator] (アプリケーション ロック 管理者) - アプリケーション ロック 機能を設定するために使用します。このアイコンは、オプションのアプリケーションがインストールされた後に表示されます。
	[MultiUser Administrator] (MultiUser 管理者) - MultiUser 機能を設定するために使用します。このアイコンは、オプションのアプリケーションがインストールされた後に表示されます。
	[Secure Storage Administrator] (ストレージ保護管理者) - ストレージ保護機能を設定するために使用します。このアイコンは、オプションのアプリケーションがインストールされた後に表示されます。

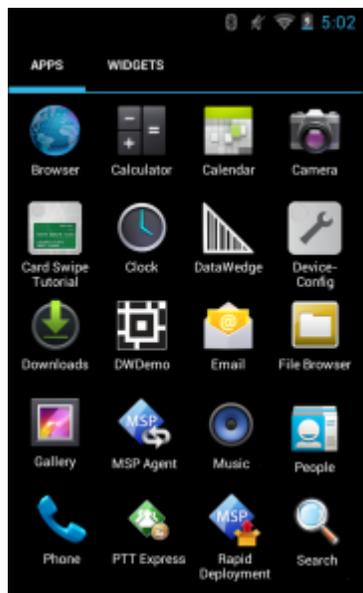
アプリケーションへのアクセス

デバイスにインストールされたすべてのアプリケーションには、[APPS] (アプリ) ウィンドウを使用してアクセスできます。

手順

- 1 ホーム画面で  をタッチします。[APPS] (アプリ) ウィンドウが表示されます。

図 19: [APPS] (アプリ) ウィンドウ



- [APPS] (アプリ) ウィンドウを左右にスライドすると、その他のアプリケーションアイコンが表示されます。アプリケーションを開くには、アイコンをタッチします。



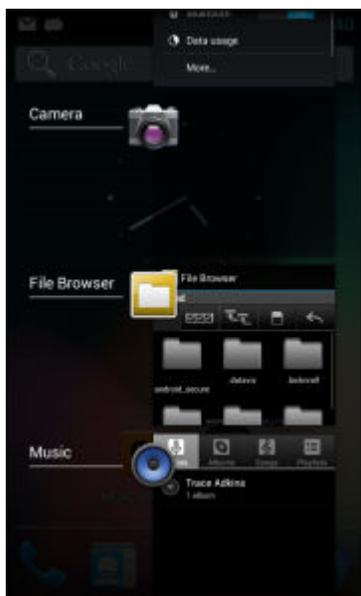
注: ホーム画面にショートカットを作成する方法の詳細については、[アプリケーションショートカットとウィジェット \(ページ31\)](#)を参照してください。

現在使用されているアプリケーションの切り替え

手順

-  をタッチしてその状態を維持します。現在使用されているアプリケーションのアイコンが表示されたウィンドウが画面に表示されます。

図 20: 現在使用されているアプリケーション



- ウィンドウを上下にスライドすると、現在使用されているすべてのアプリケーションを表示できます。

- 3 左右にスワイプしてリストからアプリケーションを削除し、強制的にアプリケーションを終了します。
- 4 アイコンをタッチして開くか、 をタッチして現在の画面に戻ります。

画面のロック解除

画面のロックを使用して、MC40 上のデータへのアクセスを保護できます。電子メールアカウントによっては、画面をロックする必要があります。ロック機能の設定の詳細については、『*MC40 Integrator Guide*』を参照してください。ロック機能は、[Single User] (単一ユーザー) モードと [Multiple User] (複数ユーザー) モードで動作が異なります。

[Single User] (単一ユーザー) モード

画面がロックされた場合にデバイスのロックを解除するには、パターン、PIN、またはパスワードが必要です。電源ボタンを押して、画面をロックします。定義済みのタイムアウト時間が経過した場合もデバイスはロックされます。

デバイスをウェイクアップするには、電源ボタンを押して放します。

[Lock] (ロック) 画面が表示されます。 を上にスライドさせて、画面のロックを解除します。[Pattern] (パターン) 画面のロック解除機能が有効な場合は、[Lock] (ロック) 画面ではなく、[Pattern] (パターン) 画面が表示されます。

[PIN] または [Password] (パスワード) 画面のロック解除機能が有効な場合は、画面をロック解除した後に、PIN またはパスワードを入力します。

図 21: ロック画面

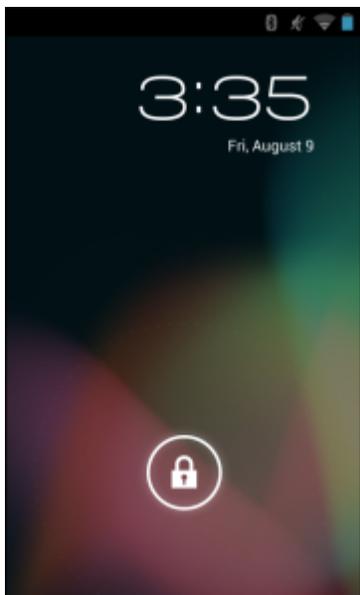


図 22: [PIN] 画面

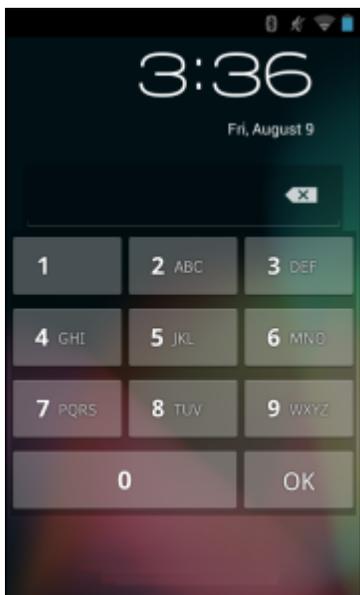


図 23: [Pattern] (パターン) 画面

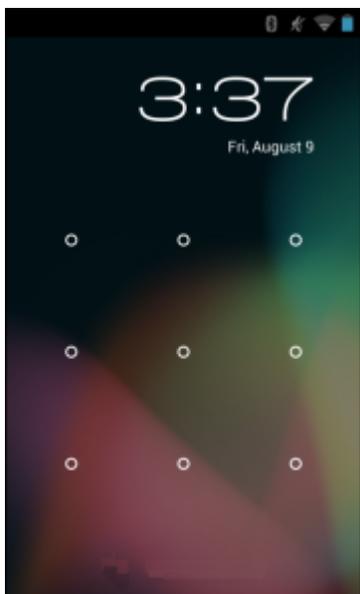
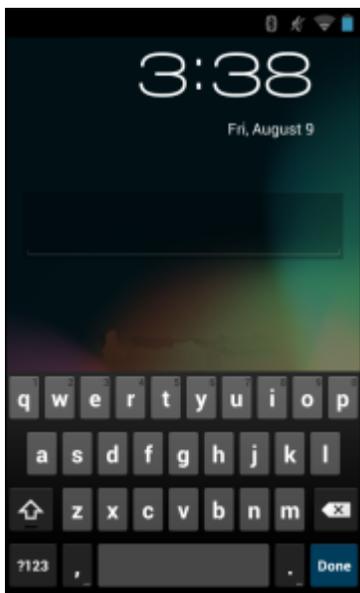


図 24: [Password] (パスワード) 画面



MultiUser モード

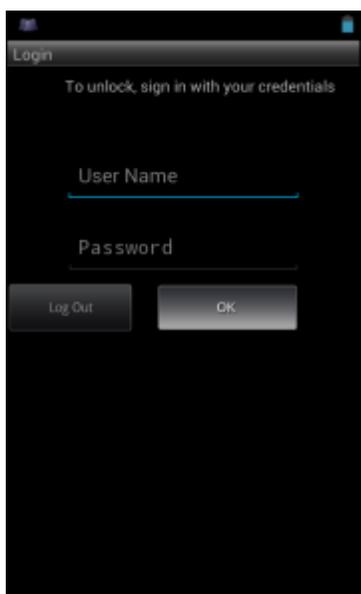
MultiUser ログインを使用すると、複数のユーザーがデバイスにログインし、各ユーザーがさまざまなアプリケーションや機能へのアクセス権を持つことができます。これが有効になっている場合は、電源がオンになった後、リセットされた後、またはサスペンドモードからデバイスがウェイクアップした後に [Login] (ログイン) 画面が表示されます。

MultiUser ログイン

手順

- 1 [Login] (ログイン) テキスト フィールドに、ユーザー名を入力します。

図 25: [Multiple User Log In] (複数ユーザーのログイン) 画面



- 2 [Password] (パスワード) テキスト フィールドに、パスワードを入力します。

- 3 [OK] をタッチします。サスペンドから再開した後、ユーザーはパスワードを入力する必要があります。

MultiUser ログアウト

手順

- 1 画面の上部からステータス バーを下にドラッグします。
- 2 [MultiUser is active] (MultiUser が有効) をタッチします。
- 3 [Logout] (ログアウト) をタッチします。
- 4 [Login] (ログイン) 画面が表示されます。

デバイスのリセット

ソフトリセットとハードリセットという 2 つのリセット機能があります。

ソフトリセットの実行

アプリケーションが応答を停止した場合は、ソフトリセットを実行します。

手順

- 1 メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
- 2 [Reset] (リセット) をタッチします。
- 3 デバイスはシャットダウンした後、再起動します。
- 4 デバイスが再起動します。

ハードリセットの実行

デバイスが応答を停止した場合は、ハードリセットを実行します。ハードリセットを実行するには、次の手順に従います。

手順

- 1 電源ボタン、左のスクリーン/アクション ボタン、音量をアップ ボタンを同時に押します。
- 2 デバイスはシャットダウンした後、再起動します。

サスペンドモード

電源ボタンを押すか非アクティブの状態が一定時間 ([Display settings] (ディスプレイの設定) ウィンドウで設定) 続くと、MC40 はサスペンドモードに移行します。

MC40 をサスペンドモードからウェイクアップするには、電源ボタンを押します。

[Lock] (ロック) 画面が表示されます。🔒 を 🔓 に向けて右にスライドして、画面のロックを解除します。
[Pattern] (パターン) 画面のロック解除機能が有効な場合は、[Lock] (ロック) 画面ではなく、[Pattern] (パターン) 画面が表示されます。 [画面のロック解除 \(ページ 39\)](#) を参照してください。

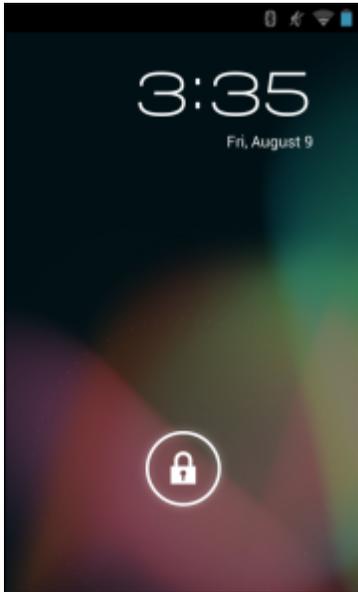


注:

正しくない PIN、パスワードまたはパターンを 5 回入力すると、再試行するまで 30 分待たなければなりません。

PIN、パスワードまたはパターンを忘れた場合は、システム管理者に連絡してください。

図 26: ロック画面



ファイルブラウザ

ファイルブラウザアプリケーションを使用して、デバイス上のファイルを表示および管理します。

[File Browser] (ファイルブラウザ) を開くには、 >  をタッチします。

図 27: ファイルブラウザの画面



アドレスバー (1) に、現在のフォルダのパスが表示されます。パスとフォルダ名を手動で入力するには、現在のフォルダのパスをタッチします。

複数のファイル/フォルダを選択するには、 (2) をタッチします。

内部ストレージのルートフォルダを表示するには、 (3) を使用します。

microSD カードのルートフォルダを表示するには、 (4) を使用します。

前のフォルダを表示するか、アプリケーションを終了させるには、 (5) を使用します。

項目に何らかの操作を行うには、その項目をタッチして、その状態を維持します。[File Operations] (ファイル操作) メニューの次のオプションから 1 つを選択します。

- **[Information] (情報)** - ファイルまたはフォルダについての詳細情報を表示します。
- **[Move] (移動)** - ファイルまたはフォルダを新しい場所に移動します。
- **[Copy] (コピー)** - 選択したファイルをコピーします。
- **[Delete] (削除)** - 選択したファイルを削除します。
- **[Rename] (名前変更)** - 選択したファイルを名前変更します。
- **[Open as] (次のタイプとして開く)** - 選択したファイルを特定のファイルタイプとして開きます。
- **[Share] (共有)** - ファイルを他のデバイスと共有します。

追加機能を開くには、 をタッチします。

- 現在のフォルダ内に新しいフォルダを作成するには、 > **[New Folder] (新しいフォルダ)** をタッチします。
- ファイルまたはフォルダを検索するには、 > **[Search] (検索)** をタッチします。
- リストを名前、タイプ、サイズ、または日付ごとに分類するには、 > **[Sort] (分類)** をタッチします。
- 現在のフォルダの内容を再表示するには、 > **[Refresh] (最新表示)** をタッチします。
- フォルダの表示方法をタイルからリスト形式に変更するには、 > **[List View] (リスト表示)** をタッチします。
- [Large] (大)、[Normal] (中)、または [Small] (小) など、アイコンのサイズを変更するには、 > **[Change Size] (サイズの変更)** をタッチします。
- アプリケーションのバージョン情報を表示するには、 > **[About File Browser] (ファイルブラウザのバージョン情報)** をタッチします。

PTT Express Voice Client



注:

PTT Express Voice Client には、個別のエンタープライズデバイス間でプッシュトゥートーク (PTT) 通信を行う機能があります。PTT Express は、既存の無線ローカルエリアネットワーク (WLAN) インフラストラクチャを利用して、音声通信サーバーなしでシンプルな PTT 通信機能を提供します。

- **グループ通話:** PTT (送信) ボタンを押して、他の音声クライアントユーザーとの通信を開始します。
- **プライベート応答:** 左のスキャン/アクション (プライベート) ボタンを押して、最後のブロードキャストの発信元に応答するか、プライベート応答を行います。

PTT 音声通知

音声クライアントを使用するときに、以下の通知音が役立ちます。

- **トーク トーン:** 2 回鳴ります。送信 (またはプライベート) ボタンを押すと再生されます。これは、通話の開始をユーザーに要求します。
- **アクセス トーン:** 1 回のビープ音です。別のユーザーがブロードキャストまたは応答を終了したときに再生されます。これで、ユーザーはグループブロードキャストまたはプライベート応答を開始できるようになります。
- **ビジー トーン:** 連続的に鳴ります。送信 (またはプライベート) ボタンを押すと再生され、同じトークグループで別のユーザーがすでに通信を開始しています。許容される最大送信時間 (60 秒) の経過後に再生されます。
- **ネットワーク トーン:**
 - 徐々に高くなるビープ音が 3 回鳴ります。PTT Express が WLAN 接続を取得し、サービスが有効になると、再生されます。
 - 徐々に低くなるビープ音が 3 回鳴ります。PTT Express の WLAN 接続が切断されるか、サービスが無効になると、再生されます。

図 28: PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェース

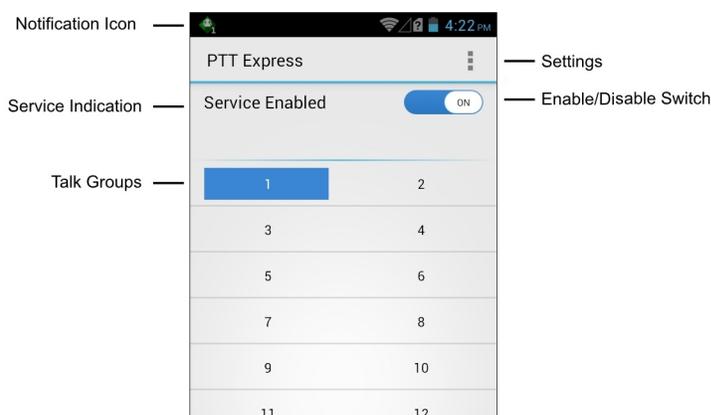


表 8: PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェースの説明

各部の名称	説明
通知アイコン	PTT Express クライアントの現在の状態を示します。
サービス状態の表示	PTT Express クライアントのステータスを示します。オプション: [Service Enabled] (サービスが有効)、 [Service Disabled] (サービスが無効) または [Service Unavailable] (サービスが利用不可)。
トーク グループ	PTT 通信で利用可能な 32 のトーク グループすべてのリストを表示します。
設定	[PTT Express Settings] (PTT Express 設定) 画面を開きます。
有効化/無効化スイッチ	PTT サービスをオンまたはオフにします。

通知アイコン

PTT Express Voice クライアントの現在の状態を示します。

表 9: PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェースの説明

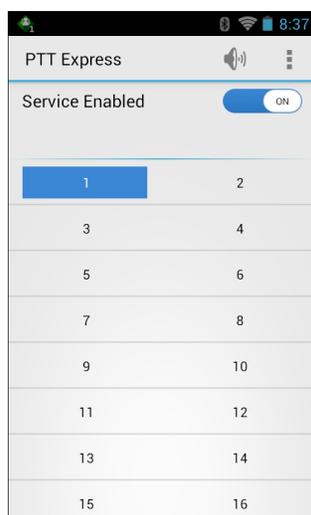
ステータス アイコン	説明
	PTT Express Voice クライアントが無効であることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効であるが、WLAN に接続されていないことを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、WLAN に接続されており、アイコンの隣にある番号によって示されるトーク グループをリスンしていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、WLAN に接続されており、アイコンの隣にある番号によって示されるトーク グループと通信を行っていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、WLAN に接続されており、プライベート応答を行っていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、ミュートになっていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効であるが、VoIP テレフォニー コールが進行中であるために通信できないことを示します。

PTT 通信の有効化

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 **[Enable/Disable Switch] (スイッチの有効/無効)** をオンの位置にスライドします。ボタンが **[ON] (オン)** ボタンに変わります。

図 29: [PTT Express] ウィンドウ



トーク グループの選択

PTT Express ユーザーは、32 のトーク グループの 1 つを選択できます。ただし、デバイスで一度に有効にできるのは、1 つのトーク グループのみです。32 のトーク グループのいずれか 1 つをタッチします。選択したトーク グループが強調表示されます。

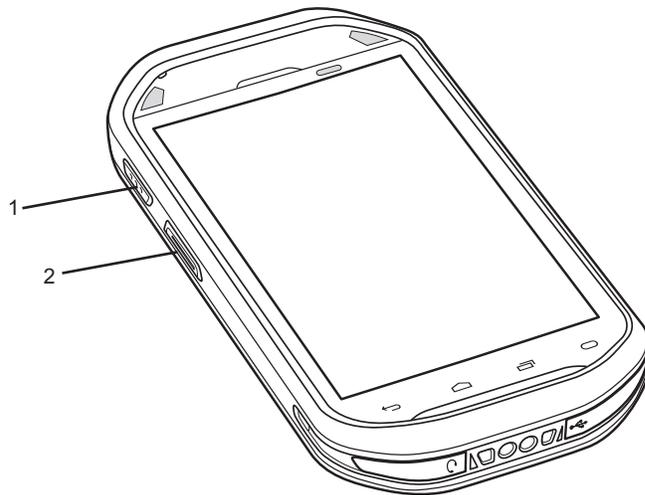
PTT 通信



注: このセクションでは、デフォルトの PTT Express クライアント設定について説明します。クライアントの使用に関する詳細については、『*PTT Express V1.2 User Guide*』を参照してください。

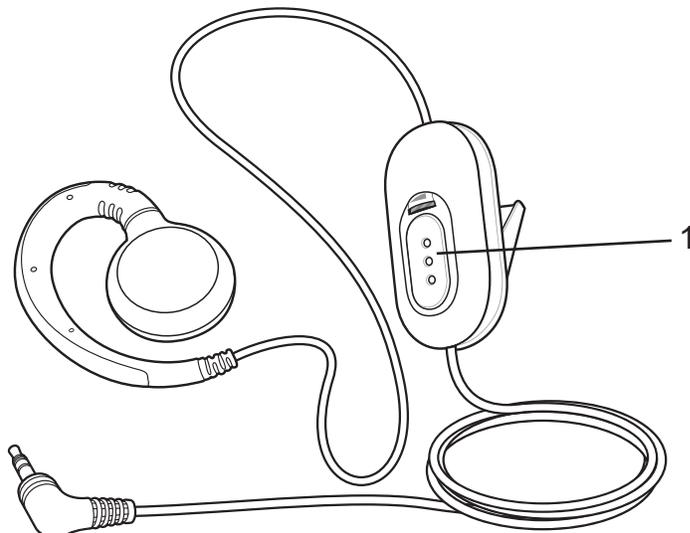
PTT 通信は、グループ通話またはプライベート応答として確立されます。PTT Express が有効になると、デバイスの左側のボタンが PTT 通信に割り当てられます。有線ヘッドセットを使用する場合は、ヘッドセットの送信ボタンを押して、グループ通話とプライベート応答を開始することもできます。

図 30: MC40 PTT ボタン



1	グループ通話ハード ボタン
2	プライベート通話ハード ボタン

図 31: 有線ヘッドセット



1 送信ボタン

グループ通話の作成

手順

- 1 グループ通話 ボタン (またはヘッドセットの送信ボタン) を押したままにすると、トーク トーンが再生されます。
ビジー トーンが再生される場合は、ボタンを放して、次の動作までしばらく待ちます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認します。
- 2 トーク トーンが再生されたら、通話を開始します。



注: ボタンを 60 秒 (デフォルト) 以上押し続けると、通話が終了して、他のユーザーがグループ通話を開始できるようになります。通話が終わったら、ユーザーはボタンを放して他のユーザーが通話を開始できるようにする必要があります。

- 3 通話が終わったら、ボタンを放します。

グループブロードキャストへの応答

手順

- 1 アクセス トーンが鳴るまで待ちます。
- 2 送信ボタンを押したままにすると、トーク トーンが再生されます。
ビジー トーンが再生される場合は、送信ボタンを離して、次の動作までしばらく待ちます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認します。
- 3 ビジー トーンが再生されたら、通話を開始します。
- 4 通話が終わったら、送信ボタンを離します。

プライベート応答での応答

プライベート応答を開始できるのは、グループ通話が確立されてからです。最初のプライベート応答は、グループ通話の発信元に対して実行されます。

手順

- 1 アクセス トーンが鳴るまで待ちます。
- 2 10 秒以内に、プライベート応答ハード ボタンを押し続け、トーク トーンが再生されるのを待ちます。
ビジー トーンが再生される場合は、ボタンを放して、次の動作までしばらく待ちます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認します。
- 3 ビジー トーンが再生されたら、通話を開始します。
- 4 通話が終わったら、ボタンを放します。

有線ヘッドセットでのプライベート応答による応答

プライベート通話を開始できるのは、グループ通話が確立されてからです。最初のプライベート応答は、グループ通話の発信元に対して実行されます。

手順

- 1 アクセス トーンが鳴るまで待ちます。
- 2 10 秒以内に、送信ボタンを押し、すぐに放してから押し続けると、トーク トーンが再生されます。
ビジー トーンが再生される場合は、ボタンを放して、次の動作までしばらく待ちます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認します。
- 3 ビジー トーンが再生されたら、通話を開始します。
- 4 通話が終わったら、ボタンを放します。

PTT Express Voice Client 通信の無効化

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 **[Enable/Disable Switch]** (スイッチの有効/無効) をオフの位置にスライドします。ボタンが **[OFF]** (オフ) に変わります。
- 4  をタッチします。

VoIP テレフォニー対応

MC40 VoIP テレフォニー対応モデルは、テレフォニー VoIP 機能をサポートするように最適化されています。

Zebra Mobile Extensions Client または他のサードパーティクライアントを使用する必要があります。インストールと使用に関する詳細については、クライアントソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

第 3 章

データ収集

MC40 では、次のようにしてデータを収集することができます。

- 内蔵イメージャ
- 内蔵デジタル カメラ
- 磁気ストライプ リーダー (MSR)
- RS507 ハンズフリー イメージャ



注:

デフォルトでは、正しく読み取ったときのビープ音がシステムの音量(ミュージックおよびメディア)に設定されます。正しく読み取ったときのビープ音は、別のサウンド(通知またはアラーム)に設定することもでき、音量は個別に制御できます。詳細については、『*MC40 Integrator Guide*』の「*DataWedge*」セクションを参照してください。

DataWedge は、デフォルトで MC40 にインストールされ、有効に設定されています。

イメージャ

内蔵イメージャ搭載のデバイスは、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニアコード、ポスタルコード、PDF417コード、2Dマトリックスコードを含む、各種バーコードシンボルの無指向読み取り。
- 容易な読み取り操作を可能にする、十字による直感的な高性能レーザー照準機能。

このモジュールでは、デジタルカメラ技術を使用してバーコードのデジタル画像を撮影し、その画像をメモリに保存し、最新のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からデータを抽出します。

動作モード

内蔵イメージャ搭載のデバイスは、次の2つの動作モードをサポートしています。各モードは、スキャンボタンを押して有効にします。

- **読み取りモード:** このモードでは、デバイスが、読み取り幅内にあるバーコードを見つけて読み取ります。スキャンボタンを押している間、またはバーコードを読み取るまで、イメージャはこのモードのままになります。



注: ピックリストモードを有効にするには、*DataWedge* で設定します。

- **ピックリストモード:** このモードでは、デバイスの読み取り幅内に複数のバーコードが存在する場合に、選択的にバーコードを読み取ることができます。選択的に読み取るには、目的のバーコードに照準の十字を合わせて、そのバーコードのみを読み取ります。この機能は、複数のバーコードが含まれているピックリストや、複数のタイプ(1Dまたは2D)のバーコードが含まれている製造ラベルや輸送ラベルを読み取るのに適しています。

デジタルカメラ

内蔵カメラ ベースのバーコード スキャン ソリューションを備えたデバイスには、次の機能があります。

- 最も一般的なリニア コード、ポスタル コード、QR、PDF417、および 2D マトリックス コードタイプを含む、各種バーコード シンボルの無指向読み取り。
- 容易な読み取り操作を可能にするクロスヘア レクチャル。
- 読み取り幅内の多数のバーコードから特定のバーコードを読み取るピックリスト モード。

このソリューションでは、高度なカメラ技術を使用してバーコードのデジタル画像を撮影し、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からデータを抽出します。

RS507 ハンズフリー イメージャ

RS507 ハンズフリー イメージャは、一次元と二次元のバーコードのウェアラブルバーコード スキャン ソリューションです。スキャナは、デバイスへの Simple Serial Interface (SSI) および Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイス (HID) 接続をサポートしています。

図 32: RS507 ハンズフリー イメージャ



詳細については、『RS507 Hands-free Imager Product Reference Guide』を参照してください。

スキャン操作に関する考慮事項

通常、スキャン操作は、照準合わせ、スキャン、読み取りなど、すぐに習得可能ないくつかの読み取り試行操作から構成されますが、最適なスキャン効率を実現するためにも次のことを考慮してください。

- 範囲
 - スキャン デバイスは、特定の読み取り幅 (バーコードからの最小距離と最大距離の範囲内) にある場合に正しく読み取りを行います。この範囲は、バーコードの密度とスキャン デバイスの光学系によって異なります。
 - 範囲内でスキャンすることで、すばやく連続して読み取ることができます。近すぎたり遠すぎたりすると、正しく読み取ることができません。スキャナを近づけたり、遠ざけたりして、スキャンするバーコードの適切な読み取り幅を見つけてください。
- 角度
 - スキャン角度は、すばやく読み取るために重要です。バーコードに当たったレーザー光線が反射してスキャナに直接戻ってくるような角度でスキャンした場合、この正反射によりスキャナは読み取れなくなります。

- これを回避するには、光線が正反射しないような角度でバーコードをスキャンしてください。ただし、正しく読み取るためにスキャナは散乱した反射光線を収集する必要があるため、あまりに鋭角な角度ではスキャンしないでください。練習することで、適切な作業範囲をすばやく確認できます。
- 大きなシンボルの場合は、デバイスを離してください。
- バーの間隔が狭いシンボルの場合は、デバイスを近づけてください。



注: スキャン手順は、アプリケーションとデバイスの構成によって異なります。アプリケーションによっては、スキャン手順が記載されている手順とは異なる場合があります。

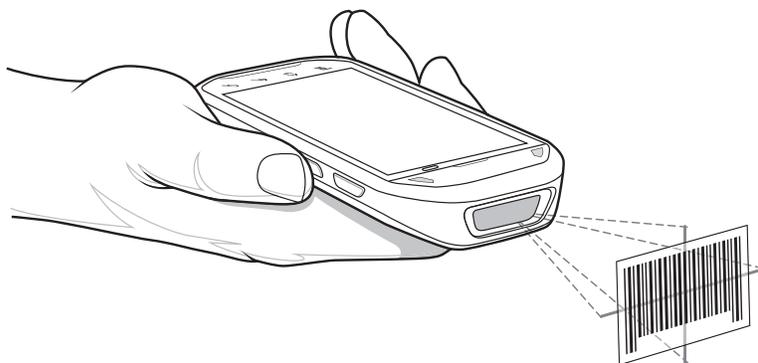
イメージャを使用したバーコードデータの収集

バーコードデータを収集するには、次の手順に従います。

手順

- 1 アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキストフィールドがフォーカスされている(テキストカーソルがテキストフィールドにある)ことを確認します。
- 2 デバイスの先端をバーコードの方に向けます。

図 33: バーコード スキャナ



- 3 スキャン ボタンを押し続けます。

照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準ドットは明るい照明条件下で表示性能を向上するために使用されます。

左右の LED が緑色に点灯してビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。MC40 がピック リスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまで MC40 はバーコードを読み取りません。

図 34: 照準パターン

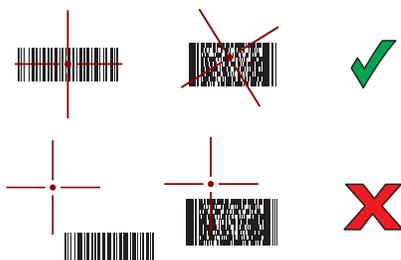
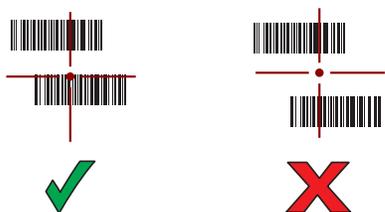


図 35: ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合



- 4 スキャン ボタンを放します。
- 5 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。

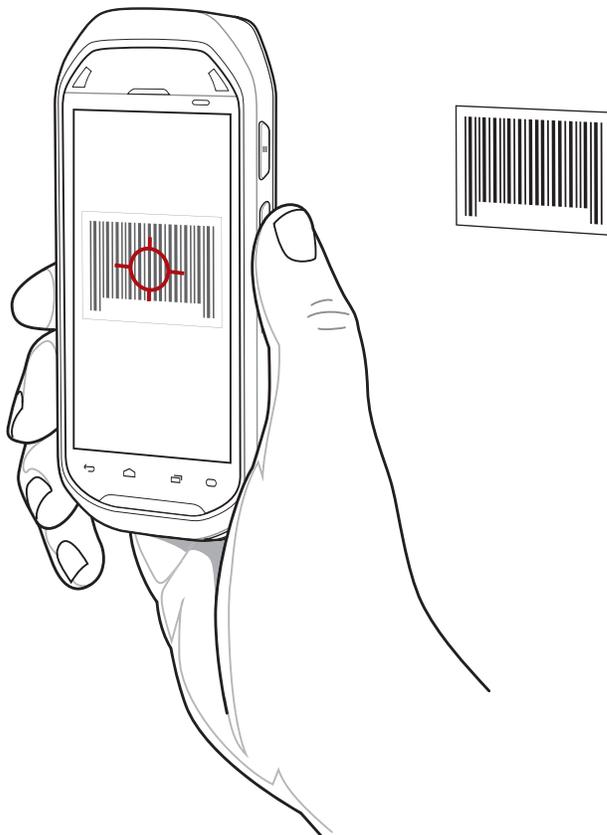
内蔵カメラを使用したバーコードデータの収集

バーコードデータを収集するには、次の手順に従います。

手順

- 1 アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキストフィールドがフォーカスされている(テキストカーソルがテキストフィールドにある)ことを確認します。
- 2 カメラをバーコードに向けます。
- 3 スキャン ボタンを押し続けます。デフォルトで、プレビュー ウィンドウが画面に表示されます。読み取り発光ダイオード(LED)が赤く点灯し、データ収集中心であることが示されます。

図 36: プレビュー ウィンドウを備えたアプリケーション



- 4 バーコードが中央に来るようにデバイスを動かします。

- 5 読み取り LED が緑色に点灯してピープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。
- 6 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。

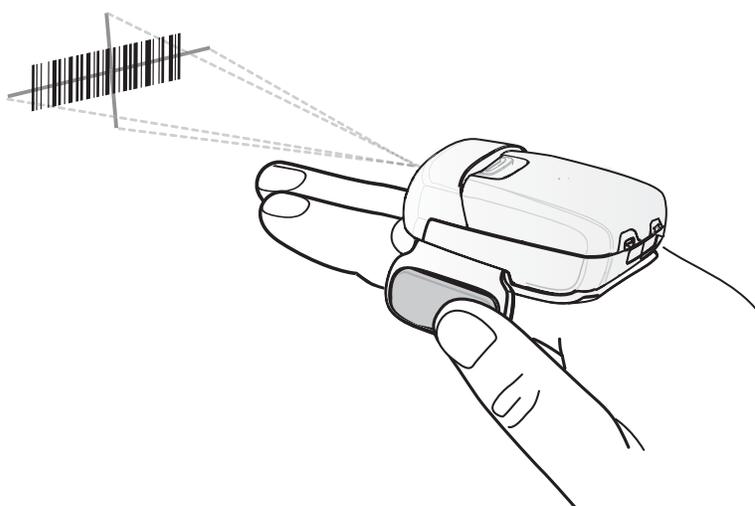
RS507 ハンズフリー イメージャによるバーコードの読み取り

前提条件: RS507 を MC40 とペアリングします。詳細については、[SSI を使用した RS507 ハンズフリー イメージャのペアリング \(ページ 56\)](#)または [RS507 ハンズフリー イメージャ Bluetooth HID とのペアリング \(ページ 57\)](#)を参照してください。

手順

- 1 アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
- 2 RS507 をバーコードに向けます。

図 37: RS507 によるバーコード スキャニング



- 3 トリガを押し続けます。

照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準ドットは明るい照明条件下で表示性能を向上するために使用されます。

RS507 LED が緑色に点灯してピープ音が鳴り、バーコードが正常に読み取られたことを示します。RS507 がピック リスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまで RS507 はバーコードを読み取りません。

図 38: 照準パターン

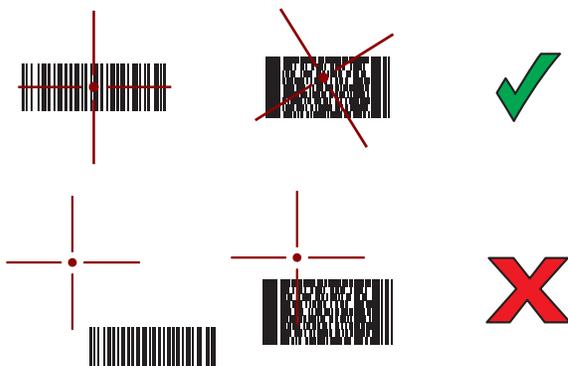


図 39: ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合



4 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。

SSI を使用した RS507 ハンズフリー イメージャのペアリング

RS507 のハンズフリー イメージャをデバイスで使用して、バーコードデータを収集できます。

手順

- 1 2つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
- 2 RS507 にバッテリーを取り付けます。
- 3 MC40 で、 をタッチします。
- 4  をタッチします。

図 40: Bluetooth ペアリング ユーティリティ



- 5 RS507 を使用して、画面でバーコードをスキャンします。
RS507 で、高いビープ音と低いビープ音が交互に鳴ります。スキャン LED が緑色に点滅し、RS507 が MC40 との接続を確立しようとしていることを示します。接続が確立されると、スキャン LED が消灯し、RS507 で、低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。
- 6 MC40 で、[Exit] (終了)

RS507 ハンズフリー イメージャ Bluetooth HID とのペアリング

RS507 のハンズフリー イメージャをデバイスで使用して、バーコードデータを収集できます。

手順

- 1 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
- 2 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
- 3 2つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
- 4 RS507 をヒューマン インタフェース デバイス (HID) モードに設定します。RS507 がすでに HID モードである場合は、手順 5 に進みます。
 - a バッテリーを RS507 から取り出します。
 - b 復元キーを押し続けます。
 - c バッテリーを RS507 に取り付けます。
 - d チャープ音が鳴り、スキャン LED が緑色に点滅するまで、復元キーを約 5 秒間押し続けます。
 - e 以下のバーコードをスキャンして、RS507 を HID モードに設定します。

図 41: RS507 Bluetooth HID バーコード



- 5 バッテリーを RS507 から取り出します。
- 6 バッテリーを RS507 に再度取り付けます。
- 7 MC40 で、 をタッチします。
- 8  をタッチします。
- 9  [Bluetooth] をタッチします。
- 10 [SCAN FOR DEVICES] (デバイスのスキャン) をタッチします。エリア内に検出できる Bluetooth デバイスがあるか検索が開始され、[AVAILABLE DEVICES] (使用可能なデバイス) にデバイスのリストが表示されます。
- 11 リストをスクロールし、RS507 を選択します。
デバイスは RS507 に接続し、デバイス名の下に [Connected] (接続済み) と表示されます。Bluetooth デバイスが [Bluetooth devices] (Bluetooth デバイス) リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

磁気ストライプカードを読み取る

磁気ストライプカードを読み取るには、内蔵 MSR を使用します。

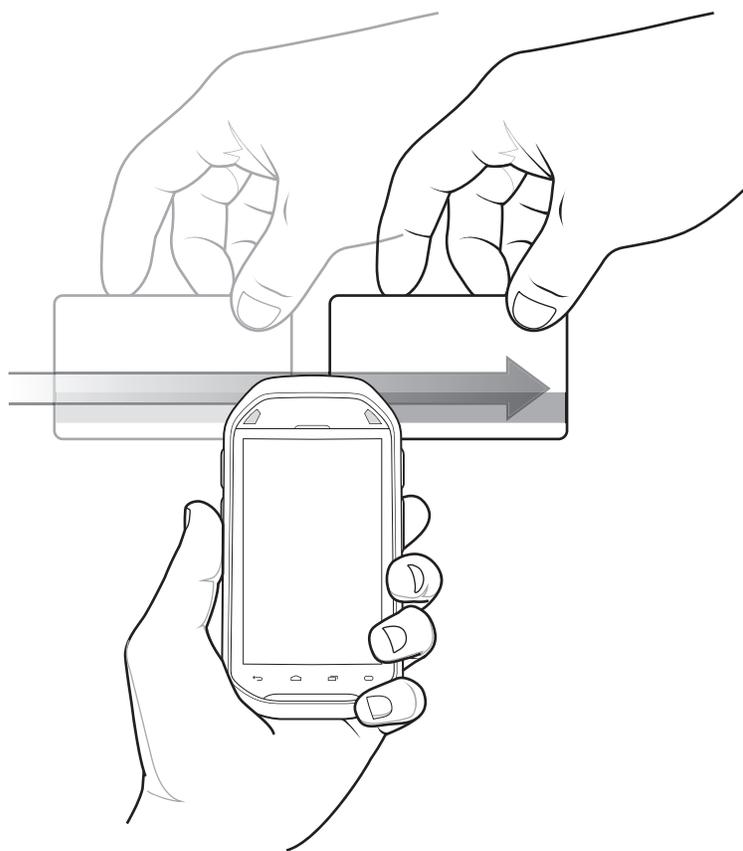


注: Card Swipe Tutorial (カードスワイプチュートリアル) アプリケーションを使用して、磁気ストライプカードを MSR に通す練習をします。

手順

- 1 DataWedge で **MSR 入力** が有効になっていて、カーソルがテキストフィールド内にあることを確認してください。
- 2 MC40 を片手でしっかりと持ちます。
- 3 磁気ストライプカードをもう一方の手でしっかりと押さええます。
- 4 カードの磁気ストライプをディスプレイに向けて揃え、どちらかの方向にカードをスムーズに通します。

図 42: 磁気ストライプカードを通す



- 5 収集されたデータがテキストフィールドに表示されます。

不適切なカードの通し方

図 43: カードの中央から通さないでください



図 44: 親指がデバイスに当たらないようにしてください

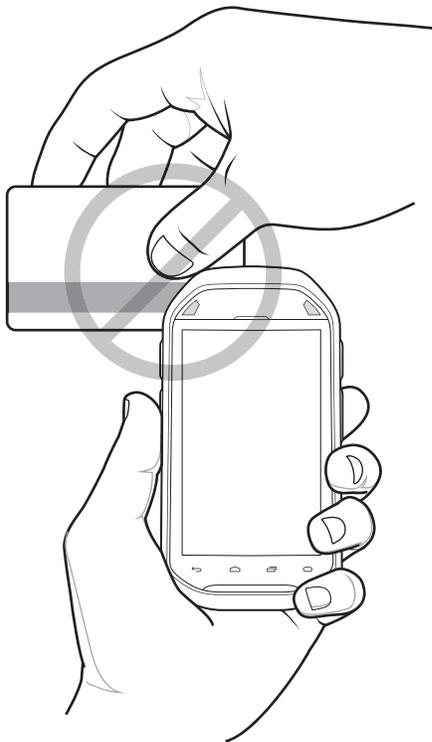


図 45: カードの端を持って通さないでください

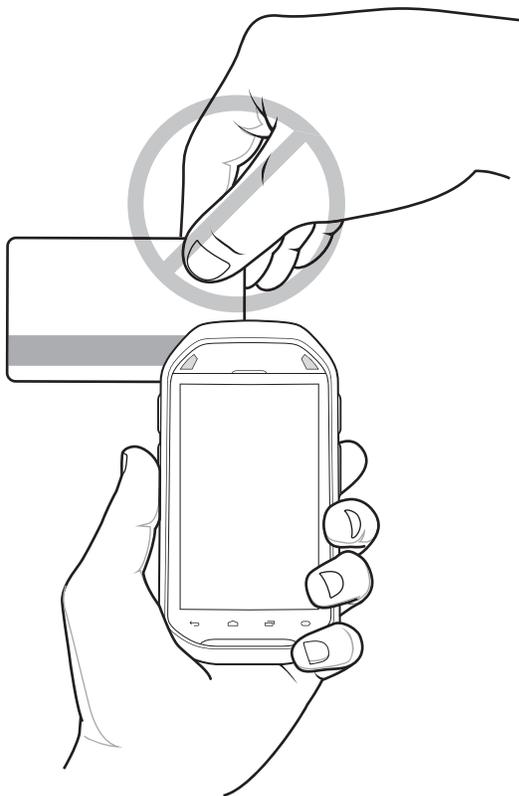
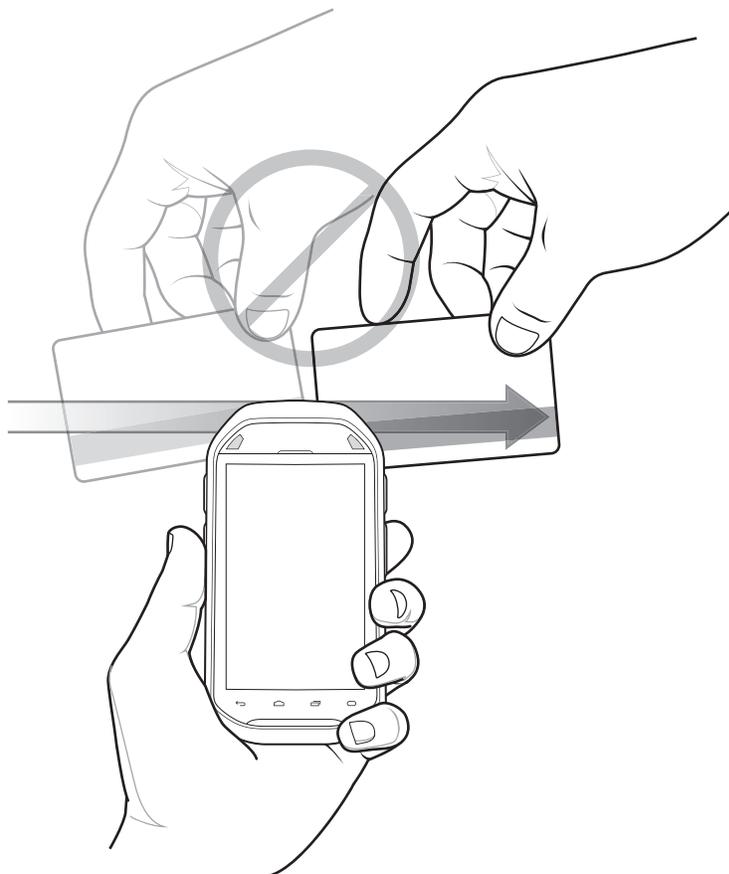


図 46: カードを斜めにして通さないでください



での DataWedge

DataWedge は、コードを作成せずに、アプリケーションに高度なバーコード スキャン機能を追加するユーティリティです。これはバックグラウンドで実行され、組み込み型のバーコード スキャナへのインタフェースを処理します。収集されたバーコードデータはキーストロークに変換され、キーパッドで入力したかのように、目的のアプリケーションに送信されます。

DataWedge の設定の詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

DataWedge の有効化

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3  をタッチします。
- 4 **[Settings] (設定)** をタッチします。
- 5 **[DataWedge enabled] (DataWedge の有効化)** チェックボックスをタッチします。青色のチェックマークがチェックボックスに表示されます。これは、DataWedge が有効になったことを示します。
- 6  をタッチします。

DataWedge の無効化

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3  をタッチします。
- 4 [Settings] (設定) をタッチします。
- 5 [DataWedge enabled] (DataWedge の有効化) チェックボックスをタッチします。チェックボックスから青色のチェックマークが消えます。これは、DataWedge が無効になったことを示します。
- 6  をタッチします。

第 4 章

WLAN

ワイヤレス ローカル エリア ネットワーク (WLAN) を使用すると、MC40 は、屋内でも無線で通信できるようになります。WLAN で MC40 を使用するには、WLAN を実行するために必要なハードウェア (インフラストラクチャとも呼ばれます) を施設に設定する必要があります。この通信を有効にするには、インフラストラクチャと MC40 の両方を正しく設定する必要があります。

インフラストラクチャの設定方法については、インフラストラクチャ (アクセス ポイント (AP)、アクセス ポート、スイッチ、Radius サーバーなど) に付属しているマニュアルを参照してください。

選択した WLAN セキュリティ方式を適用するようにインフラストラクチャを設定したら、**[Wireless & networks]** (無線とネットワーク) 設定を使用して、そのセキュリティ方式に適合するように MC40 を設定してください。

 **注:** 使用しないときは Wi-Fi をオフにすると、バッテリーの消耗を避けられます。

ステータス バーには、Wi-Fi ネットワークが利用できるかを示すアイコンと、Wi-Fi の状態を示すアイコンが表示されます。詳細については、[ステータス バー\(ページ28\)](#)を参照してください。

Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続

デバイスで WLAN をセットアップするには、次の手順に従います。

手順

- 1  をタッチします。
- 2 Wi-Fi のスイッチを **[On] (オン)** の位置にスライドさせます。
- 3 **[Wi-Fi]** をタッチします。MC40 が領域内で WLAN を検索し、見つかった WLAN のリストを表示します。

図 47: [Wi-Fi] 画面



- 4 リスト内をスクロールして、使用する WLAN ネットワークを選択します。
- 5 オープン ネットワークの場合は、**[Connect] (接続)** をタッチします。セキュア ネットワークの場合は、必要なパスワードや他の認証情報を入力して、**[Connect] (接続)** をタッチします。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

MC40 は、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) プロトコルを使用してネットワークからネットワークアドレスと他の必須情報を取得します。固定インターネットプロトコル (IP) アドレスを使用するように MC40 を設定する方法については、『*MC40 Integrator Guide*』を参照してください。

- 6 Wi-Fi の設定フィールドに **[Connected] (接続)** が表示され、MC40 が WLAN に接続されていることが示されます。

第 5 章

Bluetooth

Bluetooth 対応デバイスは、周波数ホッピング方式スペクトル拡散 (FHSS) 無線周波数 (RF) を使用して 2.4GHz の産業科学医療用 (ISM) バンド (802.15.1) でデータを送受信することで、無線通信を行えます。Bluetooth 無線テクノロジーは、短距離 (10m/32.8 フィート) 通信用に特別に開発された、低消費電力の通信技術です。

Bluetooth 機能を搭載したデバイスは、プリンタ、アクセスポイント、その他のモバイルデバイスといった Bluetooth 対応デバイスと、情報 (ファイル、予定、タスクなど) を交換することができます。

適応型周波数ホッピング

適応型周波数ホッピング (AFH: Adaptive Frequency Hopping) は、固定周波数干渉を回避する方式で、Bluetooth 音声通信に使用することができます。AFH を機能させるためには、piconet (Bluetooth ネットワーク) 内のすべてのデバイスが AFH に対応している必要があります。デバイスの接続時および検出時に AFH は行われません。重要な 802.11b 通信中は、Bluetooth 接続を確立したり、検出を行わないでください。Bluetooth の AFH は、次の 4 つの主なセクションから構成されています。

- チャンネル分類 - チャンネルごとに干渉を検出する方式、または定義済みのチャンネルマスクで干渉を検出する方式です。
- リンク管理 - AFH 情報を調整して、Bluetooth ネットワーク全体に AFH 情報を配信します。
- ホップシーケンス修正 - ホッピングチャンネル数を選択的に削減することで干渉を回避します。
- チャンネルメンテナンス - 定期的にチャンネルを再評価する方法です。

AFH が有効な場合、Bluetooth 無線は 802.11b 高速チャンネルを通るのではなく、「ホッピング」します。AFH の共存性により、エンタープライズデバイスはあらゆるインフラストラクチャで動作することができます。

デバイスの Bluetooth 無線は、Class 2 デバイスパワークラスとして動作します。最大出力は 2.5mW で、予想伝送距離は 10m (32.8 フィート) です。伝送距離は、出力やデバイスの違いや空間 (開放空間または閉鎖されたオフィス空間) によって左右されるため、パワークラスに基づいて伝送距離を判断することは困難です。



注: 802.11b での高速な動作が求められる場合は、Bluetooth 無線テクノロジーの照会を実行することはお勧めしません。

セキュリティ

現在の Bluetooth 仕様は、リンクレベルでセキュリティを定義しています。アプリケーションレベルのセキュリティは指定されていません。このため、アプリケーション開発者は、各自のニーズに応じてカスタマイズしたセキュリティメカニズムを定義することができます。リンクレベルのセキュリティは、ユーザー間ではなくデバイス間に適用されるのに対して、アプリケーションレベルのセキュリティはユーザーごと

に実装することができます。Bluetooth の仕様では、デバイスの認証に必要なセキュリティアルゴリズムとプロシージャ、および必要に応じてデバイス間で伝送されるデータを暗号化するためのセキュリティアルゴリズムとプロシージャを定めています。デバイスの認証は、Bluetooth の必須の機能ですが、リンクの暗号化は任意の機能です。

Bluetooth デバイスのペアリングは、デバイスを認証して、デバイスのリンク キーを作成するための初期化キーを作成することで行われます。ペアリングしたデバイスの共通個人識別番号 (PIN) を入力することで、初期化キーが生成されます。PIN は無線で送信されません。デフォルトでは、Bluetooth スタックは、キーが要求されたときにキーなしで応答します (キー要求イベントに応答するかどうかはユーザー次第です)。Bluetooth デバイスの認証は、チャレンジレスポンス トランザクションをベースにしています。Bluetooth では、他の 128 ビットキーの作成に使用した PIN またはパスキーをセキュリティおよび暗号化のために使用できます。暗号化キーは、ペアリング デバイスの認証に使用したリンク キーから導出されます。また、Bluetooth 無線の制限された伝送距離と高周波ホッピングにより、離れた場所からの盗聴が困難であることも特長の 1 つです。

推奨事項

- セキュリティ保護された環境でペアリングを行う
- PIN コードを公開しない。および PIN コードをデバイスに保存しない
- アプリケーションレベルのセキュリティを実装する

Bluetooth プロファイル

MC40 では、次の Bluetooth サービスがサポートされます。

- 一般アクセス プロファイル (GAP) - デバイスの検出と認証に使用します。
- サービス検索プロトコル (SDP) - 既知のサービスと特殊なサービス、および一般サービスを検索します。
- シリアルポート プロファイル (SPP) - 仮想シリアルポートをセットアップして、2 つの Bluetooth 対応デバイスを接続します。たとえば、MC40 をプリンタに接続します。
- ヒューマンインタフェース デバイス プロファイル (HID) - Bluetooth キーボード、ポインティング デバイス、ゲーム デバイス、およびリモート デバイスを MC40 に接続します。
- オブジェクトプッシュ プロファイル (OPP) - MC40 とプッシュ サーバーの間で、オブジェクトのプッシュとプルを可能にします。
- ダイアルアップ ネットワーク (DUN) - MC40 が、Bluetooth 対応の携帯電話を使用してインターネットと他のダイアルアップ サービスにアクセスできるようにします。
- ヘッドセット プロファイル (HSP) - Bluetooth ヘッドセットが MC40 と通信できるようにします。
- 高品質オーディオ配信 プロファイル (A2DP) - MC40 がステレオ品質のオーディオストリームを無線ヘッドセットまたは無線ステレオスピーカーに配信できるようにします。
- オーディオビデオリモートコントロール プロファイル (AVRCP) - MC40 がテレビやハイファイ機器など制御できるようにします。

Bluetooth の電源の状態

Bluetooth 無線はデフォルトではオフです。

- **サスペンド** - MC40 がサスペンドモードになった場合、Bluetooth 無線の状態は再開時には保持されています。
- **機内モード** - MC40 が機内モードになっている場合、Bluetooth 無線の電源はオフになります。機内モードのとき、必要に応じて Bluetooth 無線を元の状態に戻すことができます。

Bluetooth 無線の電源 – Android

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域 (航空機内など) に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスはデバイスを検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。



注: 未使用時に無線をオフにすることで、バッテリーを節約することができます。

Bluetooth の有効化

手順

- 1  をタッチします。
- 2 Bluetooth スイッチを**オン**の位置にスライドします。Bluetooth アイコンもステータス バーに表示されます。
- 3  をタッチします。

Bluetooth の無効化

手順

- 1  をタッチします。
- 2 Bluetooth スイッチを**オフ**の位置にスライドします。
- 3  をタッチします。

Bluetooth デバイスを検出する

MC40 は、検出されたデバイスと結合していなくても、そのデバイスから情報を受信できます。ただし、ペアリングしておくこと、Bluetooth 無線をオンにしたときに MC40 とペアリング済みのデバイスは自動的に情報を交換します。

手順

- 1 そのデバイスで Bluetooth が検出されるように有効になっていることを確認します。
- 2 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
- 3 2つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
- 4  をタッチします。
- 5 Bluetooth がオフの場合は、スイッチを **[ON] (オン)** の位置までスライドさせます。
- 6  **[Bluetooth]** をタッチします。
- 7 エリア内で検出できる Bluetooth デバイスの検索が開始され、**[Available Devices] (使用可能なデバイス)** にデバイスのリストが表示されます。
- 8 リストをスクロールし、デバイスを選択します。**[Bluetooth pairing request] (Bluetooth ペアリングの依頼)** ダイアログ ボックスが表示されます。

図 48: Bluetooth のペアリング - PIN の入力

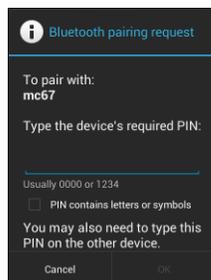
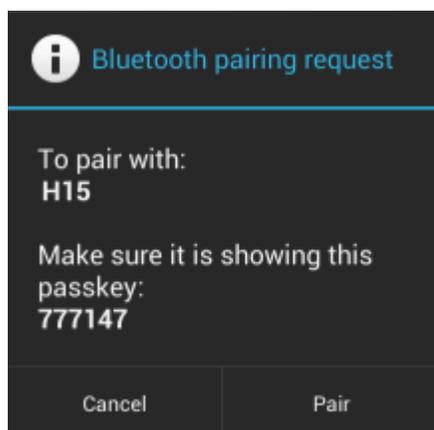


図 49: Bluetooth のペアリング - シンプルペアリング



- 9 テキストボックスに PIN を入力して、[OK] をタッチします。
- 10 接続先デバイスに同じ PIN を入力します。[Pair] (ペア) をタッチします。
- 11 Bluetooth デバイスが [Paired Devices] (ペアリング済みデバイス) リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

Bluetooth の名前の変更

デフォルトで、MC40 では、汎用の Bluetooth 名が使用され、他のデバイスに接続されるとそのデバイスに表示されます。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  [Bluetooth] をタッチします。
- 3 Bluetooth の電源がオンになっていない場合は、スイッチをオンにします。
- 4  をタッチします。
- 5 [Rename device] (デバイスの名前変更) をタッチします。
- 6 [Rename device] (デバイスの名前変更) ダイアログボックスで、名前を入力し、[Rename] (名前変更) をタッチします。
- 7  をタッチします。

Bluetooth デバイスへの接続

ペアリングを行って Bluetooth デバイスに接続するには、次の手順に従います。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  [Bluetooth] をタッチします。
- 3 Bluetooth の電源がオンになっていない場合は、スイッチをオンにします。
- 4 [PAIRED DEVICES] (ペアリング済みデバイス) リストで、メニューが表示されるまで、接続されていない Bluetooth デバイスをタッチし、その状態をしばらく維持します。
- 5 [Connect] (接続) をタッチします。接続されると、そのデバイスがリスト内に接続済みとして表示されます。

Bluetooth デバイスでのプロファイルの選択

一部の Bluetooth デバイスには複数のプロファイルが含まれています。プロファイルを選択するには、次の手順に従います。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  [Bluetooth] をタッチします。
- 3 Bluetooth がオンでない場合は、青いスイッチを [ON] (オン) の位置までスライドさせます。
- 4 [PAIRED DEVICES] (ペアリング済みデバイス) リストで、デバイス名の横にある  をタッチします。
- 5 [PROFILES] (プロファイル) の下で、プロファイルをオンまたはオフにして、デバイスがプロファイルを使用できるようにします。
- 6  をタッチします。

Bluetooth デバイスからの切断

手順

- 1  をタッチします。
- 2  [Bluetooth] をタッチします。
- 3 [Bluetooth デバイス] リストで、メニューが表示されるまでデバイスをタッチし、その状態をしばらく維持します。
- 4 [切断] をタッチします。
- 5  をタッチします。

Bluetooth デバイスのペアリング解除

手順

- 1  をタッチします。
- 2  [Bluetooth] をタッチします。
- 3 [Paired Devices] (ペアリング済みデバイス) リストで、デバイス名の隣にある  をタッチします。
- 4 [Unpair] (ペアリング解除) をタッチします。
- 5  をタッチします。

第 6 章

写真とビデオ

ここでは、内蔵デジタルカメラを使用した写真の撮影とビデオの録画について説明します。



注: 写真とビデオは、内部ストレージに格納されます。

写真の撮影



注:

カメラ設定の説明については、[カメラの設定 \(ページ74\)](#)を参照してください。

写真を撮影するには、次の手順に従います。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。

図 50: カメラ モード



- 3 必要な場合は、オプションバーをタッチし、 をタッチします。

- 4  をタッチし、カメラ設定を使用して露出、フラッシュ、およびその他の設定を調整します。詳細については、[カメラの設定 \(ページ74\)](#)を参照してください。
- 5  をタッチしてズーム レベルを調整します。
- 6 被写体を画面のフレームに合わせます。
- 7  をタッチします。

カメラが自動的に画像のピントを合わせます。画像のピントが合ったら、四隅のフォーカス インジケータが緑色に変わり、カメラは写真を撮影して、シャッター音が鳴ります。



注: シャッター音を無効にするには、通知音をオフにします。  >  **[Sound] (サウンド)** > **[Volumes] (音量)** をタッチし、**[Notifications] (通知)** スライダーを左端までスライドさせます。

または、写真を撮影する前に、 をタッチして、先にピントを合わせてから、指を離してピントの合った写真を撮影します。

撮影した写真が短時間表示された後、サムネイルとして右上隅に表示されます。

- 8 サムネイルをタッチすると、**[Gallery] (ギャラリー)** に写真が表示されます。詳細については、[写真やビデオの表示 \(ページ76\)](#)を参照してください。

パノラマ写真の撮影

パノラマモードでは、被写体全体をゆっくりパンすることにより、1つの幅広い画像を撮影できます。パノラマ写真を撮影するには、次の手順に従います。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 オプションバーをタッチして、 をタッチします。

図 51: パノラマ モード



- 4 撮影する被写体の片側をフレームに合わせます。
- 5  をタッチし、撮影する領域全体をゆっくりパンします。ボタンの内側に小さな白い正方形が表示され、撮影中であることを示します。
パンの速度が速すぎると、「Too fast」(速すぎます) というメッセージが表示されます。
- 6  をタッチして、撮影を終了します。直ちにパノラマが表示され、画像の保存中は進捗状況インジケータが表示されます。
- 7 サムネイルをタッチすると、[Gallery] (ギャラリー) に写真が表示されます。 [写真やビデオの表示 \(ページ 76\)](#) を参照してください。

ビデオの録画

ビデオを録画するには、次の手順に従います。

手順

- 1  >  をタッチします。
- 2 オプションバーをタッチして、 をタッチします。

図 52: ビデオ モード



3  をタッチし、ビデオ設定を使用して露出、フラッシュ、およびその他の設定を調整します。詳細については、[ビデオの設定 \(ページ 75\)](#) を参照してください。

4  をタッチしてズーム レベルを調整します。

5 カメラとフレームを被写体に向けます。

6  をタッチして、録画を開始します。

デバイスがビデオの録画を開始します。ビデオの残り時間が画面の左上に表示されます。

7  をタッチして、録画を終了します。



注: 以前に録画したビデオは右上のサムネイルに表示されます。

8 サムネイルにタッチすると、**[Gallery] (ギャラリー)** アプリケーションにアクセスできます。[写真やビデオの表示 \(ページ 76\)](#) を参照してください。

カメラの設定

カメラ モードの場合は、**[Camera] (カメラ)** 設定が画面に表示されます。

 をタッチして、カメラ設定のオプションを表示します。

-  **[Settings] (設定)** - タッチすると、次の設定が表示されたスクローリング リストが開きます。
 - **[Focus Mode] (フォーカス モード)** - タッチして、カメラのフォーカス設定を選択します。オプション: **[Macro] (接写)**、**[Infinity] (無限遠)**、**[Continuous] (連写)**、または**[Auto] (自動)** (デフォルト)。
 - **[Capture Mode] (キャプチャ モード)** - タッチして、キャプチャ モードを選択します。オプション: **[High Quality] (高画質)** (デフォルト) または **[Zero Shutter Lag] (シャッター ラグなし)**。

- [Picture size] (写真サイズ) - タッチして、写真のサイズ (ピクセル単位) を設定します。オプション: [8M pixels] (8M ピクセル) (デフォルト)、[5M pixels] (5M ピクセル)、[3M pixels] (3M ピクセル)、[2M pixels] (2M ピクセル)、[1M pixels] (1M ピクセル)、[VGA] または [QVGA]。
- [ISO] - オプション: [Auto] (自動) (デフォルト)、[100]、[200]、[400] または [800]。
- [Picture quality] (画質) - タッチして、写真画質の設定を選択します。オプション: [最高画質] (デフォルト)、[高画質]、または [ノーマル]。
- [Restore defaults] (初期設定に戻す) - [Restore defaults] (初期設定に戻す) をタッチすると、すべてのカメラ設定が初期設定値に戻ります。
- **SCN** [Scene mode] (シーンモード) - タッチして、特定のシーンに合わせて事前に作成されているカメラ設定の組み合わせを選択します。オプション: [Auto] (自動) (デフォルト)、[Portrait] (ポートレート)、[Landscape] (風景)、[Night] (夜間)、[Steady Photo] (三脚使用) または [Sports] (スポーツ)。
-  [Exposure] (露出) - タッチして、露出設定を調整します。オプション: +3、+2、+1、0 (デフォルト)、-1、-2、または -3。
- **AW** [White balance] (ホワイトバランス) - タッチして、最も自然な色調になるように、光の加減に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
 - **AW** [Auto] (自動) - ホワイトバランスを自動的に調整します (デフォルト)。
 -  [Incandescent] (白熱灯) - 白熱灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
 -  [Daylight] (昼光) - 昼光に適するようにホワイトバランスを調整します。
 -  [Fluorescent] (蛍光灯) - 蛍光灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
 -  [Cloudy] (曇り) - 曇天の環境に適するようにホワイトバランスを調整します。

ビデオの設定

ビデオモードの場合は、[Video] (ビデオ) 設定が画面に表示されます。



をタッチして、ビデオ設定のオプションを表示します。

-  [Settings] (設定) - タッチすると、次の設定が表示されたスクローリングリストが開きます。
 - [Restore defaults] (初期設定に戻す) - [Restore defaults] (初期設定に戻す) をタッチすると、すべてのビデオ設定が初期設定値に戻ります。
- [Video quality] (ビデオ画質) - タッチして、次のビデオ画質を選択します。
 - [HD 1080p] - 高解像度 1080p。
 - [HD 720p] - 高解像度 720p。
 - [SD 480p] - 標準解像度 480p。
- [Time lapse interval] (コマ送り間隔) - タッチして、コマ送り写真のフレーム レートを設定するための時間間隔を選択します。オプション: [Off] (オフ) (デフォルト)、[1s]、[1.5s]、[2s]、[2.5s]、[3s]、[5s]、または [10s]。
- **AW** [White balance] (ホワイトバランス) - タッチして、最も自然な色調になるように、光の加減に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
 - **AW** [Auto] (自動) - ホワイトバランスを自動的に調整します (デフォルト)。
 -  [Incandescent] (白熱灯) - 白熱灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
 -  [Daylight] (昼光) - 昼光に適するようにホワイトバランスを調整します。

-  **[Fluorescent]** (蛍光灯) - 蛍光灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
-  **[Cloudy]** (曇り) - 曇天の環境に適するようにホワイトバランスを調整します。

写真やビデオの表示



注:

デバイスでは、jpeg、gif、png、および bmp の画像形式がサポートされています。

デバイスでは、H.263、H.264、および MPEG4 シンプル プロファイルのビデオ形式がサポートされています。

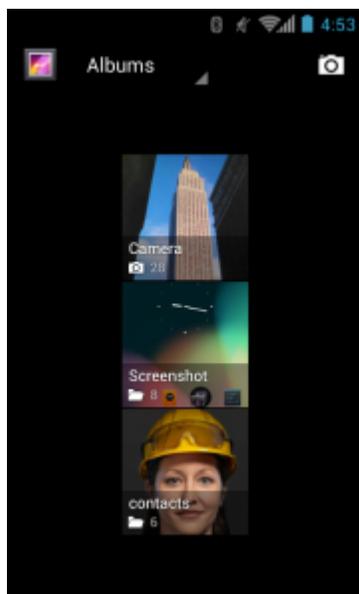
[Gallery] (ギャラリー) を使用して、次を行えます。

- 写真を表示する
- ビデオを再生する
- 写真の基本編集を行う
- 壁紙として写真を設定する
- 連絡先用の写真として写真を設定する
- 写真やビデオを共有する

Gallery (ギャラリー) アプリケーションを開くには、 >  をタッチするか、カメラ アプリケーションで右上のサムネイル画像をタッチします。

[Gallery] (ギャラリー) には、内部ストレージに保存されたすべての写真とビデオが表示されます。

図 53: **[Gallery]** (ギャラリー) - アルバム



- アルバムにタッチすると、アルバムが開き、コンテンツが表示されます。アルバム内の写真とビデオは時系列で表示されます。
- アルバム内の写真かビデオにタッチすると、それが表示されます。
-  アイコン (左上隅) をタッチすると、メインの **[Gallery]** (ギャラリー) 画面に戻ります。

アルバムの処理

アルバムには、画像やビデオがフォルダに分類されています。アルバムにタッチして、開きます。写真やビデオは時系列のグリッド表示でリストされます。アルバムの名前は画面の上部に表示されます。

図 54: アルバム内の写真



左右にスワイプすると、画面間で画像をスクロールできます。

アルバムの共有

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムが強調表示されるまで、アルバムをタッチしてその状態を維持します。
- 4 必要に応じて、他のアルバムをタッチします。
- 5  をタッチします。[Share] (共有) メニューが開きます。選択したアルバムを共有するために使用するアプリケーションをタッチします。
- 6 選択したアプリケーションの指示に従います。

アルバム情報の取得

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムが強調表示されるまで、アルバムをタッチしてその状態を維持します。
- 4  をタッチします。
- 5 [Details] (詳細情報) をタッチします。

アルバムの削除

microSD カードからアルバムとそのコンテンツを削除するには、次の手順に従います。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムが強調表示されるまで、アルバムをタッチしてその状態を維持します。
- 4 削除するその他のアルバムにチェックマークを付けます。その他のアルバムが選択されていることを確認します。
- 5  をタッチします。
- 6 [Delete selected item?] (選択した項目を削除しますか?)メニューで、[OK] をタッチしてアルバムを削除します。

写真の処理

[Gallery] (ギャラリー) を使用して、microSD カード内の写真を表示し、写真の編集および共有を行います。

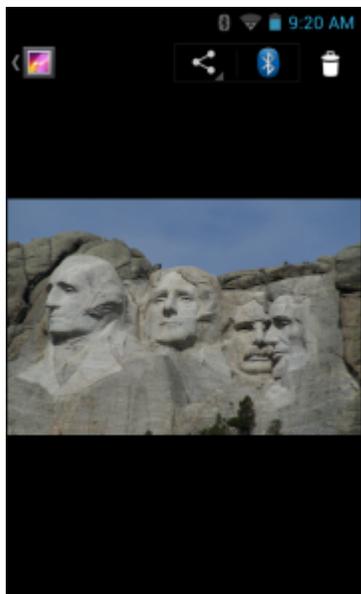
写真の表示およびブラウズ

写真を表示するには、次の手順に従います。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムにタッチして、開きます。
- 4 写真をタッチします。

図 55: 写真の例



- 5 アルバム内の次の写真または前の写真を表示するには、左または右にスワイプします。

- 6 デバイスを回転させると、写真が縦向き (ポートレート) または横向き (風景) で表示されます。写真は新しい向きで表示されます (保存は行われません)。
- 7 写真をタッチすると、コントロールが表示されます。
- 8 画面をダブルタップしてズームインするか、2本の指を画面において指の間隔を狭めたり、離したりして、ズームインやズームアウトを行います。
- 9 写真の見えない部分を表示するには、写真をドラッグします。

写真の回転

手順

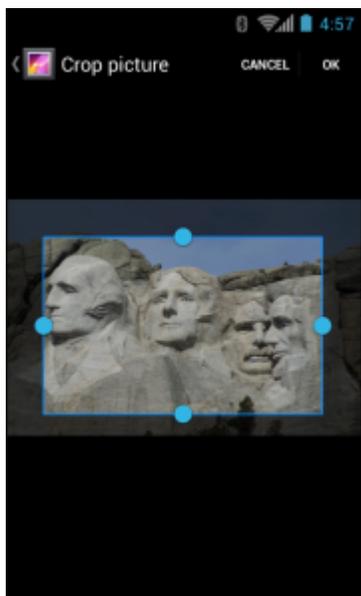
- 1 写真をタッチして、コントロールを表示します。
- 2  をタッチします。
- 3 **[Rotate Left]** (左に回転) または **[Rotate Right]** (右に回転) をタッチします。写真は新しい方向で自動的に保存されます。

写真のトリミング

手順

- 1 **[Gallery]** (ギャラリー) で、写真をタッチしてコントロールを表示します。
- 2  をタッチします。
- 3 **[Crop]** (トリミング) をタッチします。青色のトリミングツールが表示されます。
- 4 トリミングツールを使用して、写真をトリミングする部分を選択します。
 - トリミングツールの内側からドラッグすると、トリミング部分が移動します。
 - トリミングツールの縁をドラッグすると、トリミング部分が任意の比率でサイズ変更されます。
 - トリミングツールの角をドラッグすると、トリミング部分が一定の比率でサイズ変更されます。

図 56: トリミング ツール



- 5 **[OK]** をタッチして、トリミングした写真のコピーを保存します。元のバージョンは保持されます。

写真情報の取得

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムにタッチして、開きます。
- 4 写真にタッチして、開きます。
- 5  をタッチします。
- 6 **[Details] (詳細情報)** をタッチします。
- 7 **[Close] (閉じる)** をタッチします。

写真の共有

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムにタッチして、開きます。
- 4 写真にタッチして、開きます。
- 5  をタッチします。
- 6 選択した写真を共有するために使用するアプリケーションをタッチします。選択したアプリケーションが開き、新しいメッセージに写真が添付されます。

写真の削除

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムにタッチして、開きます。
- 4 写真にタッチして、開きます。
- 5  をタッチします。
- 6 **[OK]** をタッチして、写真を削除します。

ビデオの処理

[Gallery] (ギャラリー) を使用して、microSD カード内のビデオを表示し、ビデオを共有します。

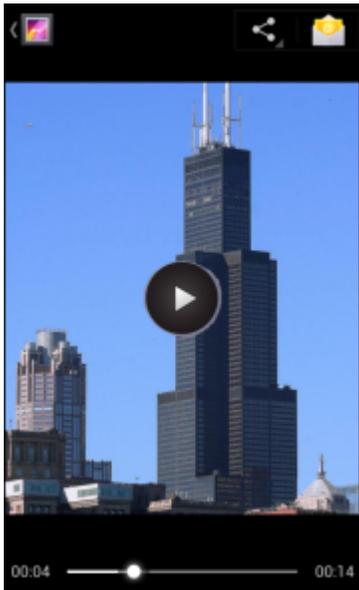
ビデオの再生

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムにタッチして、開きます。

- 4 ビデオにタッチします。

図 57: ビデオの例



- 5  をタッチします。ビデオの再生が開始されます。
- 6 画面をタッチすると、再生コントロールが表示されます。

ビデオの共有

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムにタッチして、開きます。
- 4 ビデオにタッチして、開きます。
- 5  をタッチします。[Share] (共有) メニューが表示されます。
- 6 選択したビデオを共有するために使用するアプリケーションをタッチします。選択したアプリケーションが開き、新しいメッセージにビデオが添付されます。

ビデオの削除

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムにタッチして、開きます。
- 4 ビデオにタッチして、開きます。
- 5  をタッチします。
- 6 [OK] をタッチします。

第 7 章

アクセサリ

この章では、デバイスのアクセサリの使用方法について説明します。

MC40 のアクセサリ

表 10: MC40 のアクセサリ (ページ 83) MC40 のアクセサリを示します。

表 10: MC40 のアクセサリ

アクセサリ	部品番号	説明
クレードル		
シングル スロット充電専用クレードル	CRDMC40XX-1000R	MC40 を充電します。
5 スロット充電専用クレードル ベース	CRDUNIV-XX-5000R	最大で 5 台の MC40 デバイス、またはオプションの充電キャップを使用して 4 台の MC40 デバイスと 1 台の 4 スロット バッテリ充電器を同時に充電します。この場合は、追加の電源が必要となります。
5 スロット充電専用クレードル	CRDUNIV-40-5000R	最大で 5 台の MC40 デバイスを同時に充電します。
充電器		
4 スロット バッテリ充電器	SACMC40XX-4000R	最大 4 個の MC40 バッテリを同時に充電します。
電源	PWRS-124306-01R	MC40 とシングル スロット充電クレードルに電力を供給します。
電源 (12VDC、4.16A)	PWRS-14000-148C	5 スロット充電専用クレードルと 4 スロット バッテリ充電器に電力を供給します。
ケーブル		
マイクロ USB ケーブル	25-MCXUSB-01R	MC40 に電力を供給し、USB 接続経由でホスト コンピュータと通信します。
US AC 電源コード (3 ワイヤ)	23844-00-00R	電源に電力を供給します。

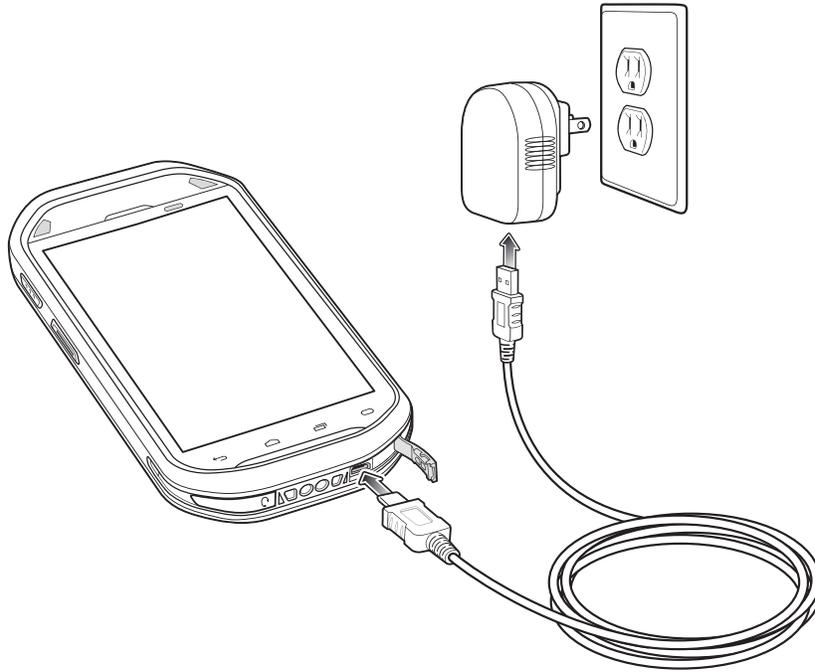
[次ページに続く ...](#)

アクセサリ	部品番号	説明
2 股 DC ケーブル	25-122026-02R	1 つの電源 (PWRS-14000-148C) を 2 台の 4 スロット バッテリ充電器に接続します。
4 股 DC ケーブル	25-85992-01R	1 つの電源 (PWRS-14000-241R) を 4 台の 4 スロット バッテリ充電器に接続します。
その他		
予備の 2680mAh リチ ウムイオンバ ッテリ	BTRY-MC40EAB0E	交換用 2680mAh バッテリ。
	BTRY-MC40EAB0E-01R	交換用 2680mAh バッテリ (10 個組)
充電キャップ	CUPMC40XX-1000R	5 スロット充電専用クレードルベースに設置して、MC40 に充電スロットを提供します (1 個組)。
バッテリー充電器 キャップ	CUPUNIBTRY-1000R	5 スロット充電専用クレードルベースに装着して、4 スロットバッテリー充電器にマウントを提供します。
ユニバーサル ブランク スロ ットカバー	CUPUNICVR-5000R	5 スロット充電専用クレードルに装着して、キャップが不要なときにスロットをカバーします (5 個組)。
保護用ゴム製ブ ーツ	SG-MC40-RBOOT-01R	MC40 に追加の保護を提供します。
	SG-MC40-RBOOT-10R	MC40 に追加の保護を提供します (10 個組)。
ソフトヒップ ホルスタ	SG-MC40HLSTR-02R	ベルトに装着して、MC40 のストレージを提供します。
フィンガース トラップアセ ンブリ	SG-MC40STRAP-01R	MC40 の背面に設置して、デバイスを安全に保持します (1 個組または 10 個組)。
	SG-MC40STRAP-10R	
ラック/壁取り 付けブラケット	KT-UNIVLBRKT-01R	5 スロット充電専用クレードルを標準ラックまたは壁に取り付けます。
有線ヘッドセッ ト	HDST-25MM-PTVP-01	PTT および VoIP テレフォニー通信用 2.5mm 有線ヘッドセット

マイクロ USB ケーブル

マイクロ USB ケーブルは、MC40 の充電やホスト コンピュータとの通信に使用します。

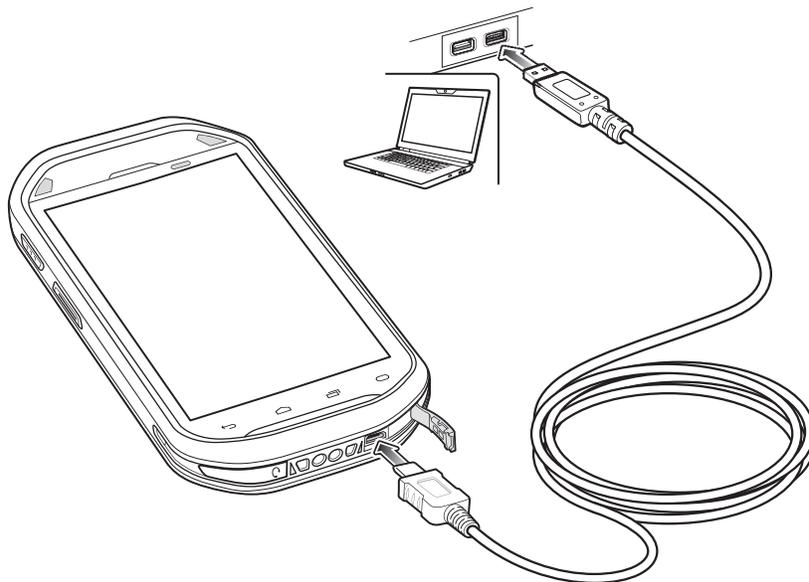
図 58: マイクロ USB ケーブルを使用した充電



インタフェース

マイクロ USB ケーブルを使用して MC40 がホスト コンピュータを接続されている場合、MC40 はホスト コンピュータ上で取り外し可能なディスクとして表示されます。詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

図 59: マイクロ USB ケーブルを使用した通信



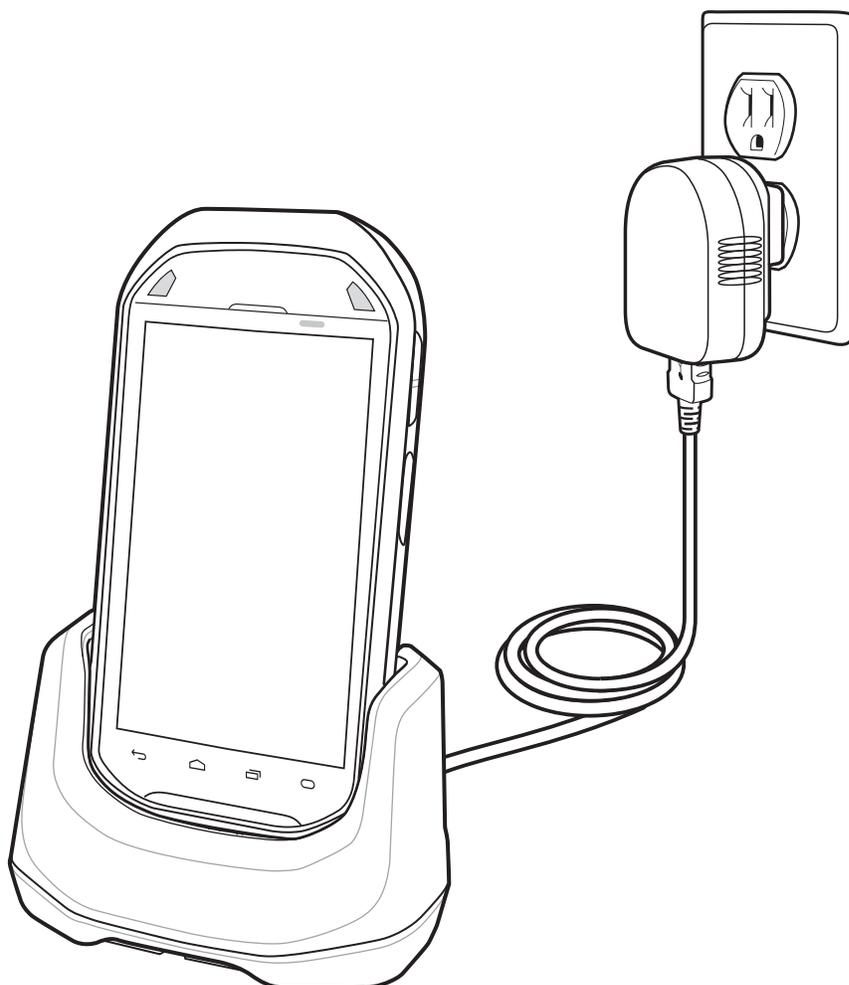
シングル スロット 充電クレードル

シングル スロット 充電クレードルは、MC40 とバッテリーの充電用に 5VDC の電源を供給します。

MC40 のバッテリーの充電

クレードルを電源に接続します。スロットに MC40 を挿入すると充電が開始します。

図 60: MC40 のバッテリーの充電



MC40 の右のバッテリー充電発光ダイオード (LED) は、MC40 のバッテリー充電の状態を示します。充電の状態の表示については、[表 3: バッテリー充電 LED の状態 \(ページ 19\)](#) を参照してください。2680mAh バッテリーは、約 4 時間で充電が完了します。

バッテリーの充電は、周辺温度 0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)、またはバッテリーに記載されている 45°C (113°F)

以下の環境で行ってください。バッテリーの温度を確認するには、 > ⓘ [About device] (デバイス情報) > [Battery Information] (バッテリー情報) をタッチします。

充電は、MC40 によって精密に制御されています。温度制御を行うため、MC40 やアクセサリは、バッテリーの充電状態を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC40 やアクセサリの右の LED にエラーが表示されます。[表 3: バッテリー充電 LED の状態 \(ページ 19\)](#) を参照してください。

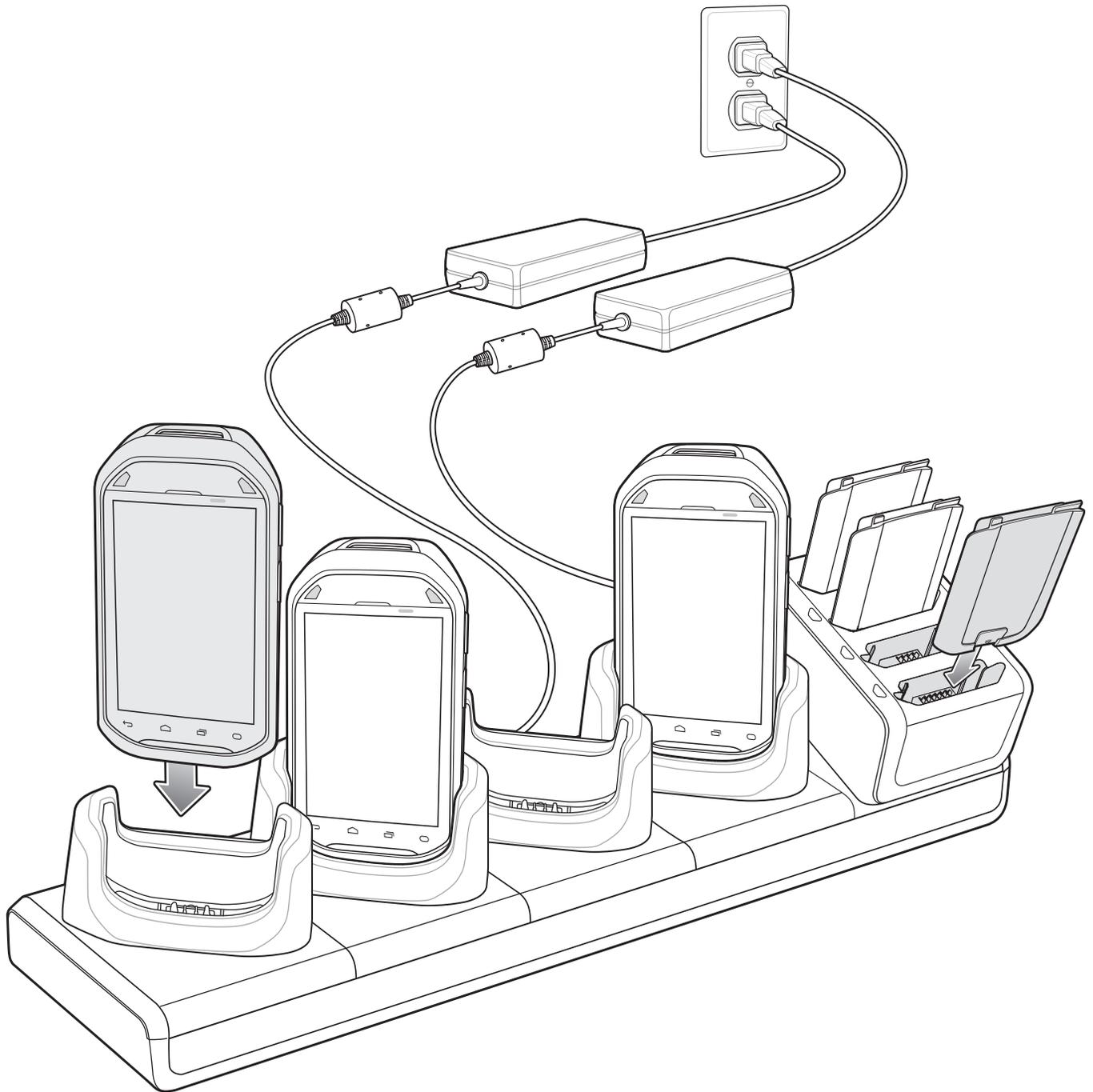
5 スロット充電専用クレードル

5 スロット充電専用クレードル:

- MC40 の操作に必要な DC 5 V の電力を供給します。
- 最大 5 台の MC40 を同時に充電します。
- クレードルベースと、さまざまな充電要件に合わせて設定できるオプションのキャップで構成されます。
- 4 スロット バッテリー充電器 (個別の電源が必要) のマウントを提供します。

設定と構成の指示については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。MC40 を充電するには、MC40 を空いているスロットに挿入します。

図 61: MC40 と予備バッテリーの充電



MC40 の右側の LED は、バッテリー充電のステータスを示します。充電の状態の表示については、[表3: バッテリー充電 LED の状態 \(ページ19\)](#)を参照してください。2680mAh バッテリーは、約 4 時間で充電が完了します。

バッテリーの充電は、周辺温度 0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)、またはバッテリーに記載されている 45°C (113°F)

以下の環境で行ってください。バッテリーの温度を確認するには、 > ⓘ [About device] (デバイス情報) > [Battery Information] (バッテリー情報) をタッチします。

充電は、MC40 によって精密に制御されています。温度制御を行うため、MC40 やアクセサリは、バッテリーの充電状態を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC40 やアクセサリの右の LED にエラーが表示されます。[表3: バッテリー充電 LED の状態 \(ページ19\)](#)を参照してください。

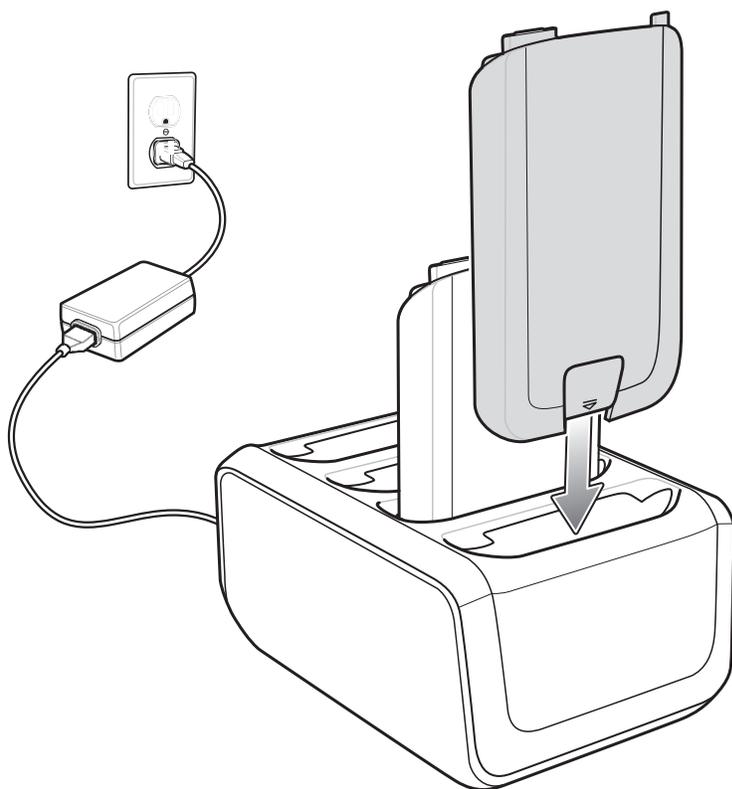
4 スロット バッテリー充電器

4 スロット バッテリー充電器には、次のような機能があります。

- バッテリーの充電に必要な 12VDC の電力を供給します。
- 最大 4 台の MC40 バッテリーを同時に充電します。

予備バッテリーを充電するには、次の手順に従います。

図 62: 4 スロット バッテリー充電器



4 スロット バッテリー充電器には黄色のバッテリー充電 LED が 4 つあり、それぞれのバッテリー受けに 1 つずつあります。2680mAh バッテリーは、約 4 時間で充電が完了します。

バッテリーの充電は、周辺温度 0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)、またはバッテリーに記載されている 45°C (113°F)

以下の環境で行ってください。バッテリーの温度を確認するには、 > ⓘ [About device] (デバイス情報) >

[Battery Information] (バッテリー情報) をタッチします。充電は、MC40 によって精密に制御されています。温度の制御を実現するため、充電器がバッテリーの充電を交互に有効にしたり無効にしたりして、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になったときは、充電器の LED でそれを示します。

表 11: 予備バッテリー充電 LED の状態

ステータス	意味
オフ	<p>スロットにバッテリーがありません。</p> <p>バッテリーが充電されません。</p> <p>バッテリーが充電器に正しく挿入されていません。</p> <p>充電器に電力が供給されていません。</p>
黄色でゆっくり点滅	バッテリーが充電中です。
緑色の点灯	充電が完了しました。
黄色で速く点滅	<p>充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎる、または高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎます。

第 8 章

メンテナンスとトラブルシューティング

この章では、デバイスのクリーニングと保管方法、および操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。

MC40 のメンテナンス

トラブルを避けるため、MC40 の使用中は次の注意事項を守ってください。

- MC40 の画面を引っかかないでください。MC40 で作業するときは、指だけを使用してください。MC40 の画面の表面で、実際のペンや鉛筆、その他の鋭いものを使用しないでください。
- MC40 のタッチスクリーンはガラス製です。MC40 を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- MC40 は極度の高温または低温にさらさないでください。暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、熱源のそばに置いたりしないでください。
- ほこりや湿気が極端に多い場所では、MC40 の保管や利用を避けてください。
- MC40 をクリーニングする場合は、レンズ用の柔らかい布を使用してください。MC40 のディスプレイが汚れた場合は、柔らかい布に薄めた窓ガラス洗剤を湿らせてクリーニングします。
- バッテリーの寿命と製品の性能を最大限に活用するために、充電式バッテリーは定期的に変換してください。バッテリーの寿命は、ユーザーの利用状況によって異なります。

バッテリーの安全に関するガイドライン

- 機器を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質および薬品を置かないでください。業務環境以外で機器を充電する場合は、特に細心の注意を払ってください。
- バッテリーの使用、保管、および充電については、このガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。
- モバイルデバイス バッテリーを充電する場合は、バッテリーと充電器の温度を、0°C ~ +40°C (32°F ~ 104°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーおよび充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れ、またはその他の事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご質問のある場合は、Zebra カスタマー サポート センターにお問い合わせください。
- USB ポートを充電用の電源として利用する機器は、USB-IF のロゴのある製品か、USB-IF コンプライアンス プログラムで認証された製品のみ接続することができます。
- 分解または外殻を開くこと、粉碎、屈曲または変形、穿孔、もしくは切断を行わないでください。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリー ターミナルに接触させたりしないでください。

- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体への浸漬または暴露、または火、爆発あるいはその他の危険物への暴露を行わないでください。
- 駐車中の車両内、またはラジエータやその他の熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れないでください。
- 児童がバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。
- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に適切に従って廃棄してください。
- バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。
- バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合は、接触部位を大量の水で洗い流し医師の診断を受けてください。
- 機器またはバッテリーが破損した恐れがある場合は、Zebra カスタマー サポート センターに検査を依頼してください。

クリーニング方法



注意:

必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、圧縮空気とアルコールに関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合は、グローバル カスタマー サポート センターに詳細をお問い合わせください。



警告: 高温の油やその他の可燃性の液体に製品に触れさせないでください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従って直ちに製品をクリーニングしてください。

使用可能な洗剤の活性成分

どのような洗剤であってもその活性成分は、イソプロピルアルコール、漂白剤/次亜塩素酸ナトリウム、過酸化水素、中性食器洗剤のいずれか、またはこれらの組み合わせのみで構成されている必要があります。

有害成分

化学薬品の中には、デバイスの樹脂部分を冒すことが判明しているために、デバイスに接触しないような配慮が必要なものがあります。このような化学薬品として、アンモニア溶液、アミンまたはアンモニアの化合物、アセトン、ケトン、エーテル、芳香族炭化水素および塩素化炭化水素、アルカリのアルコール溶液または水溶液、エタノールアミン、トルエン、トリクロロエチレン、ベンゼン、石炭酸、および TB-リゾフォルムがあります。

クリーニング方法

デバイスに液体を直接塗布しないでください。柔らかい布にしみ込ませて使用するか、ウェットティッシュを使用してください。布やウェットティッシュにデバイスをくるまず、力を入れずにゆっくりと表面を拭きます。ディスプレイの周辺などに液体がたまらないように注意してください。デバイスは、自然乾燥させてから使用してください。

クリーニングの際の注意事項

多くのビニール製手袋には、医療用途にはお勧めできないフタレート系の添加剤が含有されており、デバイスの筐体には有害であることがわかっています。フタレートを含有する手袋を着用してデバイスを扱わないようにしてください。また、手袋を外した後は、手を洗って汚染残留物を除去してからデバイスを扱ってください。デバイスを扱う前に、エタノールアミンを含有する除菌ローションなど、上記の有害成分を含有する製品を使用していた場合は、樹脂部の損傷を防止するために、手を完全に乾燥させてからデバイスを扱うようにしてください。

必要なクリーニング材料

- アルコール脱脂綿
- レンズ用ティッシュペーパー
- 綿棒
- イソプロピルアルコール
- 管つき圧縮空気の缶

クリーニングの頻度

モバイルデバイスが使用される環境がそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はユーザーが判断してください。クリーニングは必要に応じて行えますが、パフォーマンスを最適に保つために、埃の多い環境で使用した場合は、カメラ ウィンドウを定期的にクリーニングすることをお勧めします。

MC40 のクリーニング

筐体

アルコール脱脂綿で筐体を拭きます。キーやキーの間の部分も拭きます。

ディスプレイ

ディスプレイはアルコール脱脂綿で拭いてもかまいません。ただし、ディスプレイの端の周囲に液体がたまらないように注意してください。すぐに柔らかい布でディスプレイを乾かします。このとき、傷が付かないよう、目の粗い布は使わないでください。

スキャナ ウィンドウとカメラ ウィンドウ

レンズ用ティッシュペーパーまたはメガネなど光学材料のクリーニングに適した用具で定期的にカメラ ウィンドウを拭いてください。

コネクタのクリーニング

コネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

手順

- 1 モバイルコンピュータからメインバッテリーを取り外します。
- 2 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
- 3 綿棒のコットン部で、コネクタ部分を軽くこすります。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
- 4 これを3回以上繰り返します。
- 5 アルコールに浸した綿棒で、コネクタ部付近の油分や埃を拭き取ります。
- 6 乾いた綿棒で、ステップ4～6を繰り返します。



注意: ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

- 7 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。
- 8 コネクタ部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。

クレードルのコネクタのクリーニング

クレードルのコネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

手順

- 1 クレードルから DC 電源ケーブルを取り外します。
- 2 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
- 3 綿棒のコットン部で、コネクタのピンに沿って拭きます。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を往復させます。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
- 4 コネクタの前面も、綿棒で拭く必要があります。



注意: ノズルを自分や他の人に向けしないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

- 5 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。
- 6 綿棒のコットンの屑をすべて取り除きます。
- 7 クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合は、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除きます。
- 8 アルコールが蒸発するまで 10 ~ 30 分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、クレードルに電源をつないでください。

気温が低く湿度が高い場合は、長い乾燥時間が必要となります。気温が高く湿度が低い場合は、乾燥時間が短くて済みます。

MC40 のトラブルシューティング

表 12: MC40 のトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
電源ボタンを押しても、MC40 がオンにならない。	バッテリーが完全に放電されている。	バッテリーをもう一度充電するか、交換します。
	バッテリーが適切に取り付けられていない。	バッテリーを適切に取り付けます。 バッテリーの取り付け (ページ 18) を参照してください。
	電源ボタンを押す時間が十分ではない。	赤い LED が点滅するまで、電源ボタンを押します。
	MC40 が反応しない。	ハードリセットを行います。 デバイスのリセット (ページ 42) を参照してください。
電源ボタンを押しても MC40 がオンにならないが、デコード LED が黄色に点滅する。	バッテリーの充電レベルが非常に低い。	バッテリーをもう一度充電するか、交換します。

次ページに続く ...

問題	原因	対処方法
バッテリーが充電されない。	バッテリーに問題がある。	バッテリーを交換してください。それでも MC40 が動作しない場合は、ハードウェアリセットを行います。 デバイスのリセット (ページ 42) を参照してください。
	バッテリーの充電中に、MC40 が電源から取り外された。	MC40 をクレードルに差し込みます。2680mAh バッテリーは 4 時間以内にフル充電が完了します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。
データ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	通信中に MC40 がホスト コンピュータから取り外された。	通信ケーブルを再度取り付けて、再送信します。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
音が鳴らない。	音量設定が低いかオフになっている。	音量を調整します。
MC40 がオフになる。	MC40 が非アクティブになっている。	ディスプレイは一定の時間非アクティブになっていると電源がオフになります。この時間を、15 秒、30 秒、1 分、2 分、10 分、または 30 分に設定します。
	バッテリーが完全に放電してある。	バッテリーをもう一度充電するか、交換します。
ストレージのメモリが不十分であることを示すメッセージが表示される。	MC40 にインストールされているアプリケーションが多すぎる。	ユーザーが MC40 にインストールしたアプリケーションを削除し、メモリを復元します。  >  [Apps] (アプリケーション) > [Downloaded] (ダウンロード済み) を選択します。使用していないプログラムを選択して、[Uninstall] (アンインストール) をタッチします。
バーコードの読み取り時に、MC40 が読み取らない。	DataWedge が有効になっていない。	DataWedge を有効にして、適切に設定します。詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。
	バーコードを読み取れない。	コードに汚れがないことを確認します。
	MC40 とバーコードとの距離が適切ではない。	MC40 を正しいスキャン範囲に置きます。
	MC40 が特定のバーコードタイプを読み取れないようにプログラムされていない。	スキャンするバーコードに対応するように、MC40 を設定します。DataWedge の設定については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

次ページに続く ...

問題	原因	対処方法
	MC40 がビーブ音を鳴らすように設定されていない。	正しく読み取ったときに MC40 がビーブ音を鳴らさない場合は、正しく読み取ったときにビーブ音を鳴らすようにアプリケーションを設定します。
MC40 が近くの Bluetooth デバイスを検出できない。	他の Bluetooth デバイスから遠すぎる。 近くの Bluetooth デバイスの電源がオンになっていない。	他の Bluetooth デバイスから 10 m (30 フィート) 以内に MC40 を近づけます。 検出するには、近くの Bluetooth デバイスの電源をオンにします。
	Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていない。	Bluetooth デバイスを検出可能なモードに設定します。必要に応じて、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
MC40 が磁気ストライプカードを読み取らない。	カードの磁気ストライプが誤った方向を向いている。	磁気ストライプカードの方向が正しいことを確認します。カードの磁気ストライプをディスプレイに向ける必要があります。
WLAN に接続できない。	アクセスポイント (AP) が国コードのブロードキャストを行いません。	IEEE 802.11d 機能を無効にします。  > [Wi-Fi] >  > [Advanced] (詳細) をタッチします。 [Enable 802.11d] (802.11d を有効にする) チェックボックスの選択を解除します。
有線ヘッドセットがヘッドセットフックとして機能していない、または有線ヘッドセット経由でも PTT 通話を開始できない。	有線ヘッドセットが正しく接続されていない。	有線ヘッドセットが正しく接続されていることを確認してください。

シングル スロット 充電クレードルのトラブルシューティング

表 13: シングル スロット 充電クレードルのトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
MC40 バッテリーが充電されない。	MC40 をクレードルから抜くのが早すぎたか、クレードルを AC 電源から抜くのが早すぎた。	クレードルに電力が供給されていることを確認します。MC40 が正しくセットされていることを確認します。バッテリーが充電中であることを確認します。2680mAh バッテリーは、約 4 時間で充電が完了します。

次ページに続く ...

問題	原因	対処方法
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC40 がクレードルに完全にセットされていない。	EMC40 をクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。

5 スロット充電専用クレードル CRDUNIV-40-5000R のトラブルシューティング

表 14: 5 スロット充電専用クレードルのトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
バッテリーが充電されません。	クレードルから MC40 を取り外すのが早すぎた。	MC40 をクレードルに差し込み直します。2680mAh バッテリーは、約 4 時間で充電が完了します。  >  [About device] (デバイス情報) > [Status] (ステータス) をタッチしてバッテリーステータスを表示します。
バッテリーが故障している。		他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
MC40 がクレードルに正しく挿入されていません。		MC40 を取り外して正しく差し込み直します。充電がアクティブになっていることを確認します。  >  [About device] (デバイス情報) > [Status] (ステータス) をタッチしてバッテリーステータスを表示します。
クレードルの周辺温度が高すぎる。		クレードルを、周辺温度が 0 ~ 35°C の場所に移動します。
予備バッテリーが 4 スロットバッテリー充電器で充電されない。	4 スロットバッテリー充電器の電源が入らない。	4 スロットバッテリー充電器には、別に電源が必要となります。正しい電源を確保して、充電器に接続します。

4 スロット バッテリー充電器 SACMC40XX-4000R のトラブルシューティング

表 15: 4 スロット バッテリー充電器のトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
バッテリーが充電されな い。	バッテリーを充電器から取り外したり、充電器を AC 電源から抜くのが早すぎた。	バッテリーを充電器に差し込み直すか、充電器の電源を接続し直します。2680mAh バッテリーは、約 4 時間で充電が完了します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	バッテリーの端子が充電器に接続されていない。	バッテリーが、端子を下にしてバッテリー受けに正しくセットされていることを確認します。

第 9 章

技術仕様

以降のセクションでは、デバイスの技術仕様について説明します。

MC40 技術仕様

次の表に、MC40 の設計動作環境とハードウェアの技術仕様を示します。

表 16: MC40 技術仕様

項目	説明
物理特性	
寸法	高さ: 143.9mm (5.66 インチ) 幅: 72.8mm (2.87 インチ) MSR 無し: 奥行き: 20.1mm (0.79 インチ) MSR 有り: 奥行き: 31.8mm (1.25 インチ)
重量	MSR 無し: 257.7g (9.09 オンス) MSR 有り: 266.1g (9.38 オンス)
ディスプレイ	4.3 インチキャパシティブ、480 x 800、300 ニト
タッチ パネル	デュアル タッチ可能
バックライト	LED バックライト
バッテリー	充電式リチウム イオン バッテリー 3.7V、2680mAh 高性能バッテリー
バックアップ バッテリー	NiMH バッテリー (充電式) 15mAh 3.6V (ユーザー アクセス不可)。
接続性	1 つの USB 2.0 OTG コネクタ
通知	LED、オーディオ、およびバイブレーション
キーパッド オプション	画面キーボード
オーディオ	スピーカー、マイクロフォン、およびヘッドセット コネクタ (モノ、マイクロフォン付き 2.5mm ジャック)Bluetooth ステレオ ヘッドセットによるステレオ オーディオ
消毒可能	はい (医療用バージョン)

[次ページに続く ...](#)

項目	説明
カラー	シルバー、医療用の場合はブルーとホワイト
通信	すべてのモデル: プッシュトゥトーク PTT Express Client 搭載済み VoIP テレフォニー対応モデル: VoIP テレフォニー向けに最適化済み VoIP クライアントは含まれません。
性能特性	
CPU	Texas Instruments OMAP 4430 @ 800MHz、デュアル コア
オペレーティング システム	Android ベースの ASOP 4.1.1
メモリ	1GB RAM、8GB フラッシュ
出力 (USB)	ドッキング コネクタ: 5VDC @ 500mA (最大)
ユーザー環境	
動作温度	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5~95% (結露なきこと)
耐落下衝撃性能	1.2m (4 フィート) の高さからベニヤ板に複数回落下 (MIL-STD 810G 仕様に準拠) 0.9m (3 フィート) の高さから複数回落下
静電気放電 (ESD)	± 15kVdc 大気放電、± 8kVdc 直接放電、± 2kVdc 間接放電
シーリング	IP54
無線 LAN データ通信	
無線 LAN (WLAN) 通信	IEEE® 802.11a/b/g/n/r (内蔵アンテナ)
サポートされるデータ速度	802.11b: 1、2、5.5、11Mbps 802.11a/g: 6、9、12、18、24、36、48、54Mbps 802.11n: 6.5、13、19.5、26、39、52、58.5、65Mbps 802.11n (SGI): 7.2、14.4、21.7、28.9、43.3、57.8、65、72.2Mbps 高速ローミング: 事前認証、PMKID キャッシング、Opportunistic Key Caching (OKC)、Cisco CCKM、Zebra HFSR、802.11r 認証: Wi-Fi、CCXv4
動作チャンネル	チャンネル 36 ~ 165 (5180 ~ 5825MHz)、チャンネル 1 ~ 13 (2412 ~ 2472MHz)。実際の動作周波数は、各地の規制および承認機関により異なります。
セキュリティ	セキュリティ モード: 従来式、WPA、および WPA2 暗号化: WEP (40 および 128 ビット)、TKIP、および AES 認証: TLS、TTLS (MSCHAP)、TTLS (MSCHAPV2)、TTLS (PAP)、PEAP (MSCHAPV2)、PEAP (GTC)、FAST (MSCHAPV2)、FAST (GTC)、LEAP CCXv4 認定
通信方式	直接スペクトラム拡散方式 (DSSS) および直交周波数分割多重方式 (OFDM)

次ページに続く ...

項目	説明
無線 PAN データ/音声通信	
Bluetooth	Class II、v 2.1 EDR。内蔵アンテナ
データ収集	
イメージャ	1D および 2D バーコードを収集します。
背面のカメラ	バーコード スキャンと画像の読み取り: 8MP オートフォーカス カメラと照準合わせ、1D および 2D バーコード、写真、動画、署名、および文書を読み込み可能。
磁気ストライプリーダー	磁気ストライプ カードからデータを読み取ります。
RS507 ハンズフリー イメージャ	1D および 2D バーコードを収集します。
センサー	
モーションセンサー	スクリーンの向きの動的可変および電源管理を可能にする、3 軸式加速度計を利用した運動センサー機能を装備。
周辺光/近接センサー	表示の輝度を自動的に調整して、PTT 通話中にディスプレイをオフにします。
イメージャ (SE4500-DL) の仕様	
読み取り幅	水平 - 39.2° 垂直 - 25.4°
光学分解能	WVGA 752 (縦) x 480 (横) ピクセル (グレー スケール)
回転	360°
ピッチ	±60°
スキュー	±60°
周辺光	室内照明: 450 フィートカンデラ (4845 ルクス) 屋外自然光: 9000 フィートカンデラ (96,900 ルクス) 直射日光: 8,000 フィートカンデラ 蛍光灯: 450 フィートカンデラ
焦点範囲	スキャナ ウィンドウの中心から: 18.5cm (7.3 インチ)
照準光源波長 (VLD)	655nm ± 10nm
発光光源波長 (LED)	625nm ± 5nm
読み取り可能コード	
1D	Chinese 2 of 5、Codabar、Code 11、Code 128、Code 39、Code 93、Discrete 2 of 5、EAN-8、EAN-13、GS1 DataBar、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Limited、Interleaved 2 of 5、Korean 2 of 5、MSI、TLC 39、Matrix 2 of 5、Trioptic、UPCA、UPCE、UPCE1、Web Code
2D	Australian Postal、Aztec、Canadian Postal、Composite AB、Composite C、Data Matrix、Dutch Postal、Japan Postal、Maxicode、Micro PDF、Micro QR、PDF、QR Code、UK Postal、US Planet、US Postnet、US4State、US4State FICS

シングル スロット 充電クレードル CRDMC40XX-1000R の技術仕様

表 17: シングル スロット 充電クレードルの技術仕様

項目	説明
寸法	高さ: 69.4mm (2.73 インチ) 幅: 102.5mm (4.04 インチ) 奥行き: 88.9mm (3.50 インチ)
重量	274g (9.67oz)
入力電圧	5.4VDC
電力消費 (1 つの MC40 を使用)	6W
動作温度	0°C ~ 40°C
保管温度	-40°C ~ 70°C
充電温度	0°C ~ 40°C
湿度	0 ~ 95% (結露なきこと)
落下	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

5 スロット 充電専用クレードル CRDUNIV-40-5000R の技術仕様

表 18: 5 スロット 充電専用クレードルの技術仕様

項目	説明
寸法 (ベースのみ)	高さ: 40.2mm (1.6 インチ) 幅: 449.6mm (17.7 インチ) 奥行き: 120.3mm (4.7 インチ)
寸法 (充電キャップ付きのベース)	高さ: 90.1mm (3.5 インチ) 幅: 449.6mm (17.7 インチ) 奥行き: 120.3mm (4.7 インチ)
寸法 (ベースと 4 つの充電キャップと 1 つのバッテリー充電キャップ)	高さ: 77.0mm (3.0 インチ) 幅: 449.6mm (17.7 インチ)

次ページに続く ...

項目	説明
	奥行き: 120.3mm (4.7 インチ)
重量 (ベースのみ)	0.93kg (20.5 ポンド)
重量 (ベースに充電カップを 5 個装着)	1.31kg (2.89 ポンド)
重量 (ベースと 4 つの充電キャップと 1 つのバッテリー充電キャップ)	1.30kg (2.86 ポンド)
入力電圧	12VDC
電力消費 (1 つの MC40 を使用)	37.5W
動作温度	0°C ~ 50°C
保管温度	-40°C ~ 70°C
充電温度	0°C ~ 40°C
湿度	0 ~ 95% (結露なきこと)
落下	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

4 スロット バッテリー充電器 SACMC40XX-4000R の技術仕様

表 19: 4 スロット バッテリー充電器の技術仕様

項目	説明
寸法 (USB ホスト拡張モジュール付き)	高さ: 59.9mm (2.36 インチ) 幅: 84.0mm (3.31 インチ) 奥行き: 116.3mm (4.58 インチ)
重量	257g (9.07 インチ)
入力電圧	12VDC
電力消費 (1 つの MC40 を使用)	25 W
動作温度	0°C ~ 40°C
保管温度	-40°C ~ 70°C
充電温度	0°C ~ 40°C
湿度	0 ~ 95% (結露なきこと)

次ページに続く ...

項目	説明
落下	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電